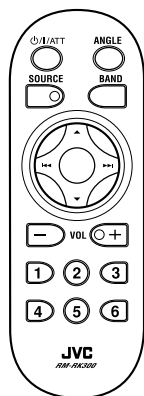
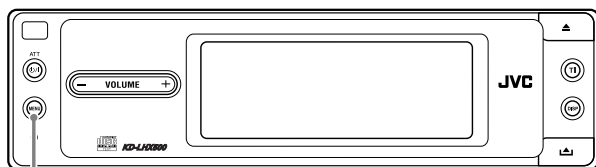


CDレシーバー

型名 KD-LHX500



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
TEXT



デモ表示について

本機には**デモアニメ**というデモ表示機能がついています。20秒以上ボタン操作をしないと、自動で表示窓がデモ表示に変わります。

解除したいときは、**MENU**ボタンを押したあと**PSM**タッチアイコンを押して「Off」に切り換えます。詳しくは**44、46**ページの「**PSMモード**の機能説明(1)」をご覧ください。

〈お知らせ〉

- お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。**57**ページの「コントロールパネルの着脱」をご覧ください。本体に取り付けてください。

— お買い上げありがとうございます —

⚠️ご使用前に

この「**取扱説明書**」と別冊の「**取付説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

	ページ		ページ
● 安全上のご注意	3~5	● CDチェンジャー(別売りのCDを聞く)	30~35
● 使用上のご注意	6~7	・ 全曲演奏(全CDのくり返し演奏)	30
・ CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて ...	7	・ CD演奏中の表示内容を変える	30
・ CDのお手入れ	7	・ 早送り/早戻しをする(サーチ)	31
● コントロールパネルの使いかた	8	・ 頭出しをする(スキップ)	31
・ 各部の名前	8	・ リモコンでダイレクトにディスクを選ぶ	31
・ タッチパネルの表示について	8	・ 10曲ずつダイレクトに選ぶ	32
● リモコンの使いかた	9~10	・ 次または前のフォルダにスキップする	32
・ 使用上の注意	9	・ プレイリストを見ながら選ぶ	33
・ 電池の入れかた	9	・ いろいろな再生モードを使用する ...	34
・ 各部の名前	10	● 他の機器の音を聞く	36
● 基本操作	11~12	● 画像データをダウンロードする ...	37~41
● 時計を合わせる	13	・ ダウンロードをする前に	37
● ラジオを聞く	14~19	・ 画像データをダウンロードする	39
・ 放送局を選ぶ	14	・ 画像を消去する	41
・ アンテナリモートについて	14	● 表示窓の画像を変える	42~43
・ FM放送が雑音で聞きにくいときは	15	● 各種設定と調節	44~50
・ IFフィルターを切り換える(FM放送のみ) ...	15	・ PSMモードの設定方法	44
・ 放送局を自動で記憶(メモリー)させる ...	16	・ PSMモードの一覧(1)	44
・ 放送局を選んで記憶(メモリー)させる ...	17	・ PSMモードの一覧(2)	45
・ 放送局を呼び出す(プリセット選局) ...	18	・ PSMモードの機能説明(1)	46
・ 道路交通情報を聞く	19	・ PSMモードの機能説明(2)	47
・ 放送受信中の表示内容を変える	19	・ PSMモードの機能説明(3)	48
● 音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く	20~29	・ 表示窓の色を変更する	49
・ MP3/WMAディスクについて	20	● iEQの使いかた	51~52
・ CD-R/CD-RWディスクについて	21	・ EQパターンを選ぶ	51
・ CDテキストについて	21	・ 調節したEQを記憶(メモリー)する ...	52
・ ディスク挿入後の表示について	21	● 音量の調節	53~54
・ 早送り/早戻しをする(サーチ)	22	・ スピーカーの音量を調節する	53
・ 頭出しをする(スキップ)	22	・ サブウーハーの音量を調節する	54
・ リモコンでダイレクトに曲を選ぶ	22	・ ソース(音源)ごとの音量差を調節する ...	54
・ 10曲ずつダイレクトに選ぶ	23	● 文字の入力のしかた	55
・ MP3/WMAのフォルダとファイルの演奏順序 ...	24	● コントロールパネルの角度を変える ...	56
・ リモコンでダイレクトにフォルダを選ぶ(ダイレクトフォルダアクセス機能)	24	● コントロールパネルの着脱	57
・ 次または前のフォルダにスキップする ...	25	・ コントロールパネルを外す	57
・ プレイリストを見ながら選ぶ	25	・ コントロールパネルを取り付ける	57
・ いろいろな再生モードを使用する	26	● 放送局名一覧	58~61
・ ディスク演奏中の表示内容を変える ...	28	● 故障かな?と思う前に	62~64
・ ミュージックリンクについて	29	・ こんな表示のときは	63
・ ディスクの盗難防止	29	● 保証とアフターサービス	65
		● 主な仕様	66
		● 文字配列表	67
		● お手入れ	裏表紙
		・ 本体の清掃	裏表紙

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



手をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



水ぬれ禁止

- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節などの操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

⚠ 注意

本機の通風孔や放熱板をふさがない。



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れない。



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れない。



- ・けがの原因となることがあります。

手をはさまれないよう注意

本機を車載用以外には使用しない。



- ・感電やけがの原因となることがあります。

指定の電池以外は使用しない。



- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

リチウム電池を廃棄するときは、電池に絶縁テープ等を張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄する。



- ・他の金属片等と、そのまま一緒に廃棄するとショートして発火、破裂の原因となることがあります。

電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れない。



- ・電池の破裂、液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり50W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω~8Ωのものをお使いください。

●安全運転のために…

・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**

・ステレオの音量は、お客様の心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後、CDを使用するときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲:0℃~+40℃)

●LCD表示(タッチパネル)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●LCD表示(タッチパネル)の操作について

タッチパネルを操作するときは、ボールペンなど先のとがった物や硬いものでタッチパネルを押ししないでください。タッチパネルに傷をつけるなど故障の原因となります。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCDが正常に演奏できないことがあります。

・エアコン(暖房)を入れた直後
・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1~2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL^{トランスフリー}*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別冊の取付説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの^{マイナス}側が車の金属部に接続されているため、^{プラス}側同士が接続されていると故障の原因になります。

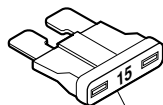
*BTL:Balanced Transformerless^{トランスフリー}の略

2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



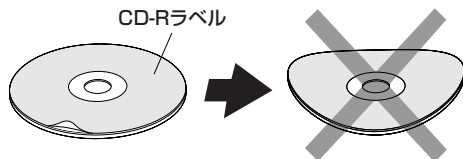
ヒューズ(15A)

●携帯電話を使用する場合は…

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。ただし、運転中は交通安全のため携帯電話を使用しないでください。

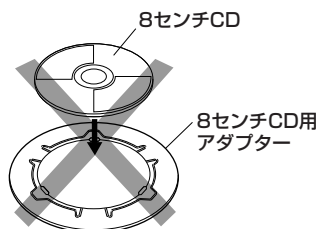
CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

- CD/CD-R/CD-RWを保管するときは専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWの取扱いについて
CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いので傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。
- 記録面に保護シールなどを張ったり、ラベル面にCD-Rラベルなどを張ったりしないでください。
そのまま使用すると、CDが反って音飛びしたり取り出せなくなったり、故障の原因となります。



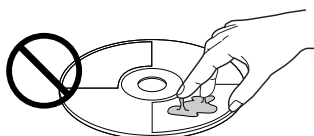
CD-Rラベルなどが張ってあると、本機内部の温度上昇によりディスクが反って音飛びや演奏停止などを起こすことがあります。

- ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。
円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。
8センチCDは、そのまま挿入してください。

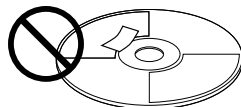


- 次のようなCDは使用しないでください。
本体内部にCDが張り付いて取り出せなくなったり、大切なCDが反って音飛びしたりCDに傷が付く原因となります。

- ・ 中古CDやレンタルCDでシールなどのノリがはみだしたり、シールをはがしたあとにノリが付着しているもの。
またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの



- ・ レンタルCDでシールが張ってあるもの（特にめくれているもの）



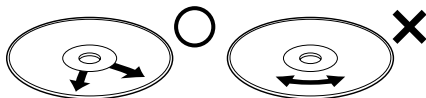
- ・ ラベル面に印刷できるインクジェットプリンター対応CD-R（印刷したもの）

※CD-Rラベルや印刷可能CD-Rの「使用上の注意」などをよくお読みになり、正しくお使いください。

- CDを長時間使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

CDのお手入れ

CDを挿入する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。



必ず内側から外側にふく。

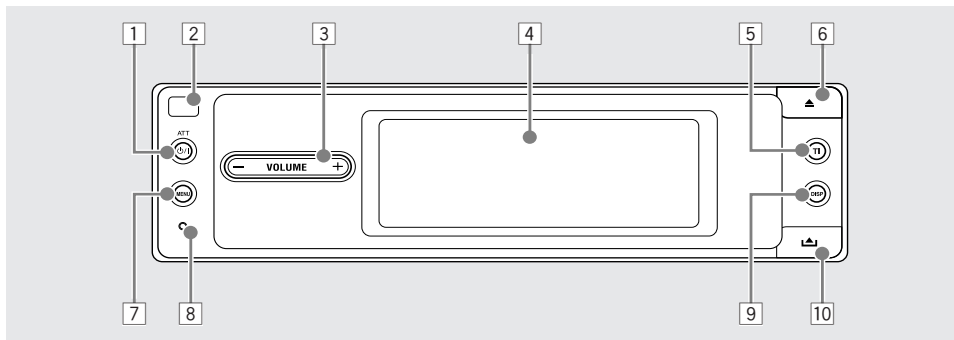
連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

コントロールパネルの使いかた

各部の名前

—()内のページに説明があります。—



- 1 電源ボタン (11)
電源を「入/切」するとき押します。「切」にするときは1秒以上押します。
ATT(アッテネーター)ボタン (12)
一時的に音量を下げる時「ポン」と押します。
- 2 リモコン受光部 (9)
- 3 VOLUME(ボリューム)＋/－ボタン (11)
・音量を調節するとき押します。
・メニュー表示中は、設定値の調節をすることができます。
- 4 タッチパネル(表示窓)
- 5 TI(交通情報)ボタン (19)
交通情報 (AM1620kHz またはAM1629 kHz)を聞くと押します。
- 6 ▲(CD取り出し)ボタン (20, 29)
CDを取り出すときや挿入するとき「ポン」と押します。
- 7 MENU(メニュー)ボタン
- 8 リセットボタン
内蔵のマイコンをリセットするとき押します。
・初めて電源を入れたとき
・どのボタンを押しても動作しなくなったとき
- 9 DISP(ディスプレイ)ボタン (15, 19, 28, 30)
表示窓(ディスプレイ)の表示を変えるとき押します。
- 10 ▲(コントロールパネル取り外し)ボタン (57)
コントロールパネルを取り外すとき押します。

タッチパネルの表示について

タッチパネルは、演奏するソースを選ぶときと各種設定を行うときとで表示する画面が異なります。次のように画面が切り換わります。操作内容で画面を確認してください。

● ソース(音源)を選ぶとき

タッチパネルに触れる



演奏中のソース(音源)が表示される

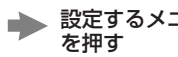


ソース(音源)を選ぶ

● 各種設定を行うとき



メニュー画面が表示される



設定するメニューを押す

それぞれのメニュー画面が表示される

リモコンの使いかた

使用上の注意

- コントロールパネルのリモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります。)
- リモコンに付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池(CR2025:市販品)と交換してください。

リモコン受光部

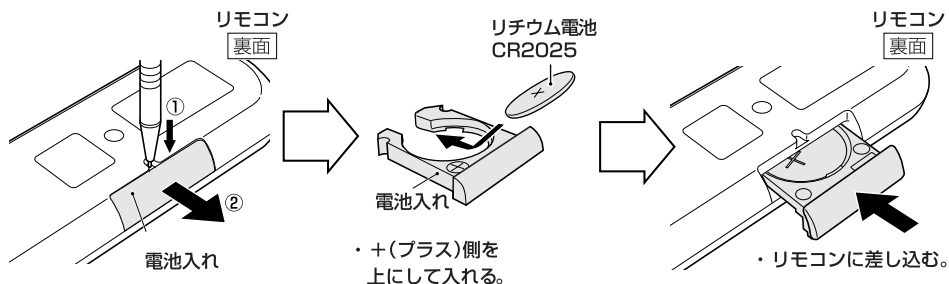


ご注意

- 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。

電池の入れかた

ボールペンなどを電池入れの溝に入れて引き出す。



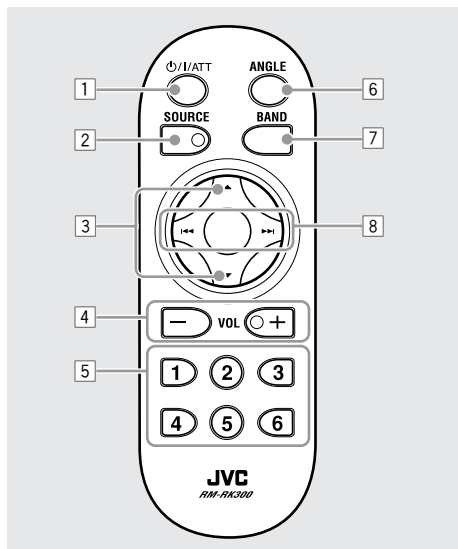
● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

リモコンの使いかた (つづき)

各部の名前



1 電源ボタン

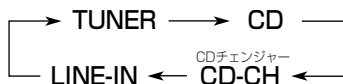
電源を「入/切」するとき押します。「切」にするときは1秒以上押します。

ATT(アッテネーター)ボタン

一時的に音量を下げる時「ポン」と押します。

2 SOURCE(ソース)ボタン

ソース(音源)を選ぶとき使います。押すごとに、次のようにソース(音源)が切り換わります。



TUNER:

FM放送またはAM放送を聞くととき選びます。前回選んでいた放送局が選ばれます。FM/AMを切り換えるときは、**BAND(バンド)ボタン(7)**を押します。

CD: CD/MP3/WMAディスクを聞くととき選びます。ディスクが入っていないときは、選ばれません。

CD-CH:

CDチェンジャー内のCDを聞くととき選びます。CDチェンジャーを接続しているとき選びます。

LINE-IN:

本機に接続した他の機器の音声を聞くととき選びます。

3 ▲/▼ボタン

「TUNER」のとき:

記憶されている放送局が選ばれます(プリセット選局)。

MP3/WMAディスクのとき:

フォルダが選ばれます。

4 VOL(ボリューム)+/-ボタン

音量を調節するとき押します。

5 数字ボタン

「TUNER」のとき:

記憶されている放送局が選ばれます(プリセット選局)。

「CD」のとき:

- ・ 音楽CDの場合
曲が直接選ばれます。
- ・ MP3/WMAディスクの場合
フォルダが直接選ばれます。

「CD-CH(チェンジャー)」のとき:

CD(MP3ディスク)が直接選ばれます。

6 ANGLE(アングル)ボタン

コントロールパネルの角度を調節するとき押します。

7 BAND(バンド)ボタン

「TUNER」のバンドを選ぶとき使います。押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。



8 ►►/◄◄ボタン

「TUNER」のとき:

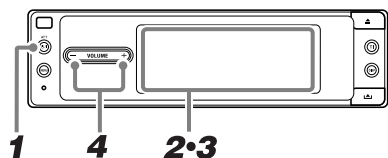
ポンと押すとオート選局、押し続けるとマニュアル選局ができます。

「CD」、「CD-CH(チェンジャー)」のとき:

曲(ファイル)の頭出しや早送り、早戻しができます。

基本操作

- 準備** ● 車のエンジンをかける。本機はエンジンキーが「OFF」または「ACC OFF」の状態では電源を入れることができません。



1 を押して電源を入れる



電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時はTUNER(ラジオ)の「FM1」…が表示されます。

2 を押してソース(音源)リストを表示させる





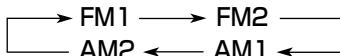
選択できるソース(音源)が表示されます。


3 ソース(音源)を選ぶ

タッチパネルを押して、ソース(音源)を選びます。

 **CD** : CDの音声を聞くとき*1

 **TUNER** : ラジオを聞くとき
 を押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。



 **CD-CH** : CDチェンジャーの音声を聞くとき*2


 **LINE-IN** : 他の機器の音声を聞くとき

*1 本機にCDが入っているとき選べます。

*2 本機にCDチェンジャーを接続しているとき選べます。

「ソース切換」をくり返し押してソース(音源)を切り換えることもできます。

リモコンで操作するときは

 をくり返し押してソース(音源)を選びます。

4 を押して音量を調節する



・ 調節範囲: Volume 0~Volume 50
(初期設定 Volume 15)


選択できるソース(音源)が表示されます。

リモコンで操作するときは

 を押して調節します。


基本操作(つづき)

● 音量を一時的に下げる

 を「ポン」と押します。

一時的に音量が下がります。タッチパネルに「ATT」と表示されます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

● 電源を「切」にする

 を1秒以上押します。

エンディングアニメが表示され電源が「切」になります。

ディスクの再生中に電源を「切」にすると、次に電源を「入」にすると前回停止したところから再生が始まります。

● 本機でコントロールできるチェンジャーについて

- ・CH-MPシリーズのMP3チェンジャー
- ・CH-XシリーズのCDチェンジャー(CH-X99を除く)


KD-MKシリーズのCDチェンジャーは、コントロールできません。


ご注意

デモアニメ(MusicLink)の表示中に、タッチパネルを操作するときは、一度タッチパネルに触れてアニメ表示を解除してから、操作してください。

次のボタンは、車のエンジンキーが「OFF」でも操作ができます。

 : ▲(CD取り出し)ボタン

 : ▲(コントロールパネル取り外し)ボタン

 : DISP(ディスプレイ)ボタン
5秒間の時刻表示

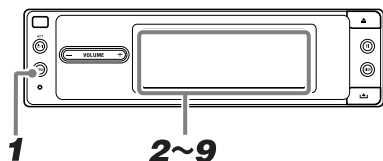
ただし、電源を「入」にすることはできません。

〈お知らせ〉

- スピーカーの音量調節については**53**ページをご覧ください。
- バッテリー交換などで本機への電源がとぎれると、設定した内容は初期設定に戻ります。

時計を合わせる

- 各操作には時間制限があります。15秒以上間隔を空けないで次の操作を行ってください。

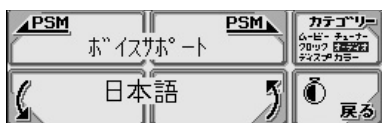


1 MENUを押す

メニューが表示されます。

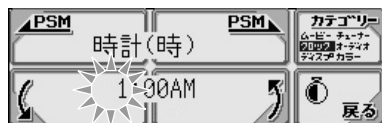


2 PSMを押す



3 カテゴリをくり返し押して「クロック」を選ぶ

「時」の位が点滅します。



4 「時」を合わせる

例:午前6時に合わせる



5 PSMを押す

「分」の位が点滅します。

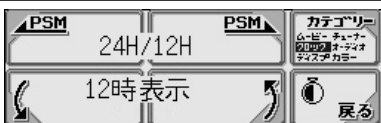


6 「分」を合わせる

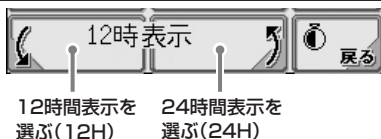
例:30分に合わせる



7 PSMを押す



8 時間方式を選ぶ



9 戻るを2回押す

ソース(音源)の表示に戻ります。
何も操作をしないしていると、15秒後に
ソース(音源)の表示に戻ります。
()が残り時間を表します)

〈お知らせ〉

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1~9の操作をします。
- バッテリー交換などで本機への電源がとぎれると、設定した内容は初期設定に戻ります。

ラジオを聞く

放送局を選ぶ

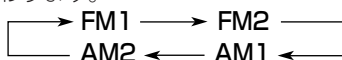


1・2

あらかじめ電源を入れて、ソース(音源)をチューナーにします。(⇒ 11ページ)

1 **FM1** を押す

タッチパネルを押すごとにバンドが切り換わります。

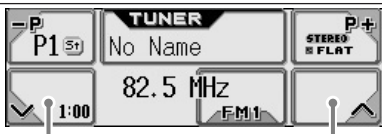


FMステレオ放送を受信すると表示します。



現在のバンドが表示されます。

2 **1:00** または **FM1** を押し て選局する



周波数が下がります。 周波数が上がります。

- **オート選局(Auto Search):**
「ポン」と押して離す。
本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- **マニュアル選局(Manual Search):**
1秒以上押した後、「ポン・ポン」と押して選局する。
 - ・ FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

リモコンで操作するときは

1. **BAND** をくり返し押してバンドを選びます。
2. **(FM/AM)** を押して選局します。

- **オート選局(Auto Search):**
「ポン」と押して離す。
本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- **マニュアル選局(Manual Search):**
1秒以上押した後、「ポン・ポン」と押して選局する。
 - ・ FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

〈お知らせ〉

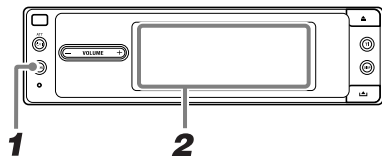
- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。このようなときは、もう一度 **1:00** または **FM1** を押してください。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作から5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。

アンテナリモートについて

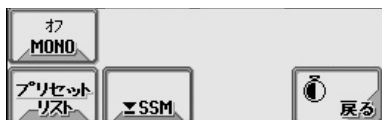
- 電動アンテナ装備車およびアンテナプースター装備車の場合は、**アンテナコントロール電源**コードを車両側の対応する端子(アンテナコントロール)に接続してください。ソース(音源)を「TUNER(ラジオ)」にすると自動的にアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。「CD-CH」や「CD」などにソース(音源)を切り換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。
(**アンテナコントロール電源**コードの最大電流は250mAです)

FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送のモードを切り換えます。

1 FM放送受信中に **MENU** を押す

メニューが表示されます。

2 **モード** を押す

MONO を押すごとに「オン」と「オフ」が交互に切り換わります。

オン：FM放送はモノラル受信となり雑音が少ないになります。通常の表示に戻ると表示窓に「MONO」が表示されます。

オフ：FM放送はステレオ受信になります。ステレオ放送を受信したとき通常の表示に戻ると表示窓に「STEREO」が表示されます。

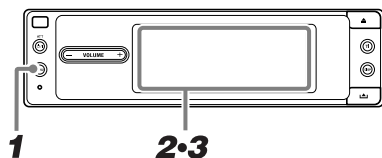
● 設定が終わったら

DISP を押すかまたは、15秒間何も操作しないでおきます。

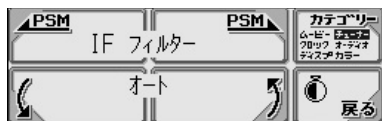
戻る を押すとひとつ前の画面に戻ります。

IFフィルターを切り換える(FM放送のみ)

本機のチューナーは、電波の強さや隣接妨害波などの影響を軽減するために自動でIFフィルターを切り換えています。

1 FM放送受信中に **MENU** を押す

メニューが表示されます。

2 **PSM** を押してから **カテゴリ** をくり返し押して「チューナー」を選ぶ3 **PSM** または **PSM** を押して「IF フィルター」を表示させる

ワイド を押すと「ワイド」に **オート** を押すと「オート」に切り換わります。

オート：隣接妨害波の有無によって、自動でIFフィルターの帯域幅を切り換えます。

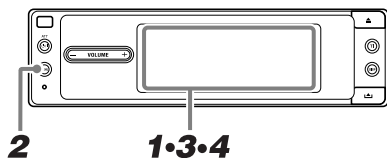
ワイド：通常の広い帯域幅のIFフィルターに固定します。

ラジオを聞く(つづき)

放送局を自動で記憶(メモリー)させる

電波の強い放送局を選局し記憶させることができます(SSM…ストロングステーションメモリー機能)。

- SSM機能を使うと、すでにそのバンドに記憶してあった放送局は取り消されます。



- 放送受信中に「MHz FM1」をくり返し押し、「FM1」、「FM2」または「AM1」、「AM2」のいずれかを選ぶ

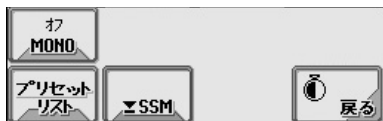
バンドごとにそれぞれ6つまで放送局を記憶させることができます。

- MENUを押す

メニューが表示されます。



- モードを押す



- SSMを1秒以上押す

例:「FM1」を選んだとき



選局が始まり、周波数の低い順に最大6つまでの放送局を記憶していきます。6局まで記憶すると選局が終了し、プリセット番号「P1」に記憶された放送局が表示されます。

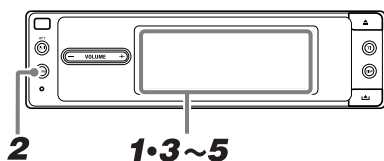
〈お知らせ〉

- 放送局が6局より少ないときは、記憶されなかった番号には以前の記憶内容が残ります。初めてこの操作を行った場合は、出荷時の設定が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまく記憶されないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- メモリーすると、放送を聞くときにプリセット選局が利用できます(⇒ 18ページ)。
- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- バッテリー交換などで本機への電源がとぎれると、記憶してあった放送局は取り消され、初期設定に戻ります。

放送局を選んで記憶(メモリー)させる

SSM機能を使って自動で記憶させるほかに、放送局を選んでから1局ずつ手動で記憶させることができます。

- プリセット番号の記憶順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに便利です。
- この操作は、SSM機能で放送局を記憶させた後にしてください。あとからSSM機能を利用すると、記憶させた内容が取り消されることがあります。



1 記憶させたいバンドと局を選ぶ

「放送局を選ぶ」(⇒ 14ページ)をご覧ください。

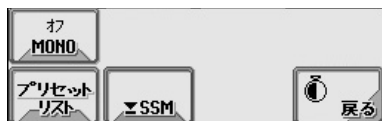
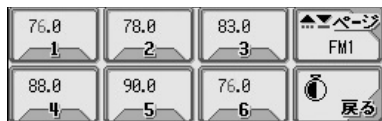


例: FM1のプリセット1に82.5MHzを記憶させる

Pや**P+**を2秒以上押し続けると、手順2~4を省略できます。

2 **MENU**を押す

メニューが表示されます。

3 **モード**を押す4 **プリセットリスト**を押す

FM1を押すと、FMが選ばれているときはFM1とFM2を、AMが選ばれているときはAM1とAM2を切り換えることができます。

5 **76.0 1**を2秒以上押す

プリセット番号が点滅します。



FM放送局が記憶されます。それまで「P1」に記憶されていた周波数は消えます。

リモコンで操作するときは数字ボタン(1~6)のいずれかを2秒以上押し、現在受信中の周波数をプリセット番号に記憶させることができます。

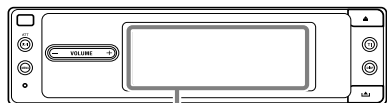
〈お知らせ〉

- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- バッテリー交換などで本機への電源がとぎれると、設定した内容は初期設定に戻ります。

ラジオを聞く(つづき)

放送局を呼び出す(プリセット選局)

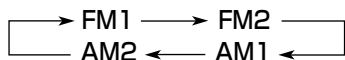
プリセット番号1~6に記憶されている放送局をワンタッチで選局することができます。



1・2

1 MHz を押す

タッチパネルを押すごとにバンドが切り換わります。



リモコンで操作するときは

BAND をくり返し押してバンドを選びます。

2 P1 または STEREO FLAT を押してプリセット番号を選ぶ

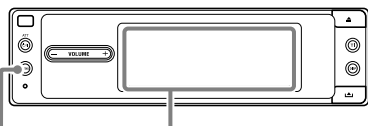
タッチパネルを押すごとに番号が切り換わります。

リモコンで操作するときは

または を押して選局します。

数字ボタン(1~6)を押しても切り換わります。

プリセットした放送局を一覧表示してから選局することもできます。

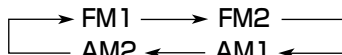


2

1・3~5

1 MHz を押す

タッチパネルを押すごとにバンドが切り換わります。



2 MENU を押す

メニューが表示されます。



3 モード を押す



4 プリセットリスト を押す



を押しすると、FMが選ばれているときはFM1とFM2を、AMが選ばれているときはAM1とAM2を切り換えることができます。

5 プリセット番号を選ぶ



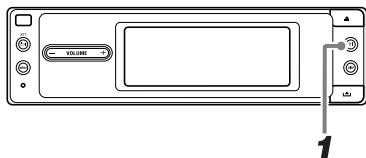
〈お知らせ〉

- P1 や P+ を2秒以上押し続けてもリストを表示できません。

道路交通情報を聞く

高速道路などの特定地域では、AM1620 kHzで道路交通情報を聞くことができます。

本体のみ



1 TI を押す

ソース(音源)に関係なくAM1620kHzが受信できます。

AM1629kHzで道路交通情報を放送しているときは:



もう一度押すと「AM1620kHz」に戻ります。

元のソース(音源)に戻すときは:

もう一度 **TI** を押します。

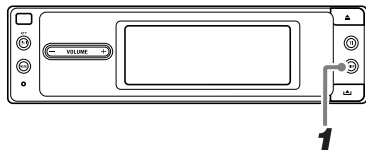
〈お知らせ〉

- AM1620kHzまたはAM1629kHzに放送局名が入力されているとき(→ 55ページ)に、TIボタンを押して切り換えた場合には、入力した放送局名は表示されません。
- TIボタンを押して道路交通情報を聞いているときは、他のソース(音源)とは独立して音量調節ができますので、聞きやすい音量に調節してお使いください。次にTIボタンを押したときはここで調節した音量になります。

放送受信中の表示内容を変える

放送受信中に、表示を変えることができます。

本体のみ



1 DISP を押す

ボタンを押すごとに、次のように表示が切りかわります。

プリセット番号 現在のEQパターン*1



放送局名*2 ↓ 現在のバンド



時刻表示

レベルメーター ↓



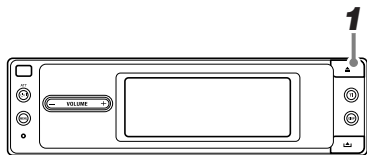
ダウンロードした画像 (→ 37~41ページ)



〈お知らせ〉

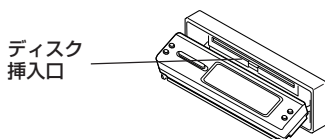
- *1 EQパターンについては、51ページの「EQの使いかた」をご覧ください。
- *2 47ページの「各種設定と調節」の操作で「受信地域」の「ご利用の地域」を設定したときは、受信した放送局の局名が表示されます。「ご利用の地域」を設定すると、バンドを変えてその周波数を選局しても同じ放送局名が表示されます。放送局名はスクロール表示されません。「ご利用の地域」を設定していないときは、「No Name」と表示されます。

音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く



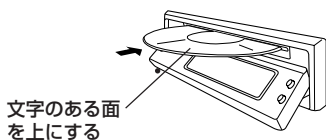
1 ▲を押す

コントロールパネルが開いてディスクの挿入口が現われます。



コントロールパネルが開いたまま、何もせずにいると、約30秒後に自動的に閉じます。

2 ディスクを入れる



途中まで入れると、ディスクが自動で中に引き込まれます。
ディスクの表裏を逆に入れると自動的に排出されます
コントロールパネルが元の位置に戻り、ソース(音源)が「CD」になり演奏が始まります。
演奏を止めるまで、すべての曲がくり返し演奏されます。

演奏を止める:

▲を押してディスクを取り出すか、またはソース(音源)を切り換えます。

〈お知らせ〉

- 文字のある面に次のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。



- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを演奏するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。
- 「——CD Play」表示中は、ディスクを読み込んでいます。読み込みが終わると、演奏が始まります。なおCD-RWディスクのときは、多少時間がかかります。
- ▲(CD取出し)ボタンを押すとディスクが出ます。このときディスクを取らずにそのままにしておくと15秒後に再び中に引き込まれます。このとき、ディスクの演奏は始まりません。

MP3/WMAディスクについて

- 多くの階層を持つディスクやCD-RWに記録したディスク、マルチセッションディスクでは演奏が始まるまで時間がかかります。
- 階層化したフォルダのあるディスクは、8階層まで演奏できます。
- ルートとは、現在開いているMP3/WMA*ディスクの最上階層のフォルダのことです。
- 同一階層内のフォルダやファイルは、ライティングソフトによってMP3/WMAディスクに書き込まれた順序で演奏されます。一般的には名前の数字・アルファベット順に書き込まれるためフォルダ名、ファイル名の初めに数字(01A、01B…など)をつけると、演奏順序を指定できることがあります。

*WMA(Windows Media® Audioの略)は、米国Microsoft社の開発した音声圧縮フォーマットです。

〈お知らせ〉

- 詳しくは、別冊の「音楽用ファイルMP3/WMAについて」もご覧ください。

● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れて入れます。

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用CDフォーマットで記録されたディスクおよびISO9660フォーマットで記録されているディスク上のMP3/WMAファイルが演奏できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては演奏できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため、車内に放置すると記録されているデータが劣化して演奏できないことがあります。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏するまでに時間がかかることがあります。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/CD-RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機に正しく表示されないことがあります。

〈お知らせ〉

- 全角文字は全角で、半角文字は半角で表示されます。
(シフトJIS第三水準以上の文字は表示されません)

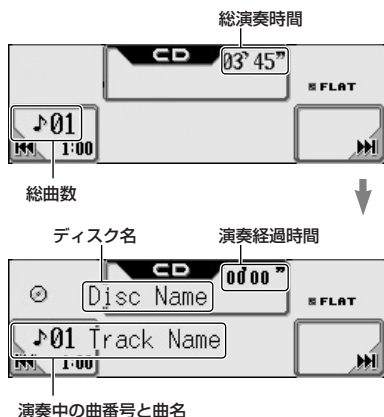
CDテキストについて



本機でCDテキスト対応のCDを演奏すると、アルファベットや数字および漢字で「CDテキスト」データを表示します。

ディスク挿入後の表示について

● 音楽用CDのとき



● MP3/WMAディスクのとき

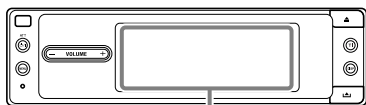


Tagのあるファイルのときは、「タグ表示」設定を「On」にするとアルバム/演奏者名が表示されます(⇒ 45、47ページ)。Tag情報がない場合は「No Name」と表示されます。

音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く(つづき)

早送り/早戻しをする(サーチ)

演奏する速度を変えて、聞きたいフレーズに素早く移動できます。



1

1 [01] または [] を押し続ける



早戻し演奏になります。 早送り演奏になります。
タッチパネルを離すと、通常の演奏に戻ります。

頭出しをする(スキップ)

前後の曲(ファイル)の頭にスキップすることができます。



1

1 [01] または [] を押す

タッチパネルを押すごとに前後の曲(ファイル)の頭に移動します。

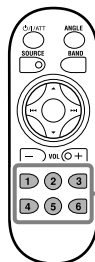


現在の曲の頭または、前の曲の頭に移動します。 次の曲の頭に移動します。

リモコンでダイレクトに曲を選ぶ

リモコンで曲をダイレクトに選びます。

音楽用CDのみ



1

1 数字ボタン(1~6)を押す

- 1~6曲目を選ぶときは、数字ボタンの1~6のいずれかを「ポン」と押します。

例: 3曲目を選ぶ

3 を「ポン」と押します。

- 7~12曲目を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。

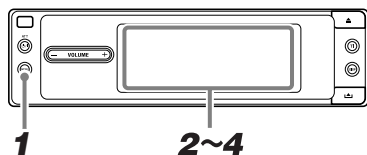
例: 12曲目を選ぶ

6 を1秒以上押します。

- 13曲目以上を選ぶときは、「10曲ずつダイレクトに選ぶ」(→ 23ページ)をご覧ください。

10曲ずつダイレクトに選ぶ

10曲単位で曲(ファイル)を飛ばして、聞きたい曲(ファイル)が素早くダイレクトに選べます。



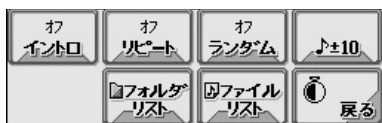
1 MENUを押す

メニューが表示されます。



2 モードを押す

メニューが切り換わります。



3 ♪±10を押す



前の10曲目に
移動します。

次の10曲目に
移動します。

4 「-10」や「+10」をくり返し
押して曲(ファイル)を選ぶ

もっとも近い10の倍数(10, 20, 30...)の曲(ファイル)番号に変わります。その後
はタッチパネルを押すごとに、10ずつ曲
(ファイル)番号が変わります。

例: 曲(ファイル)番号1の演奏中に曲番号
32を選ぶときは

1. 手順1~4を行う
手順4で、「+10」を3回押します。

2. 通常表示を押す



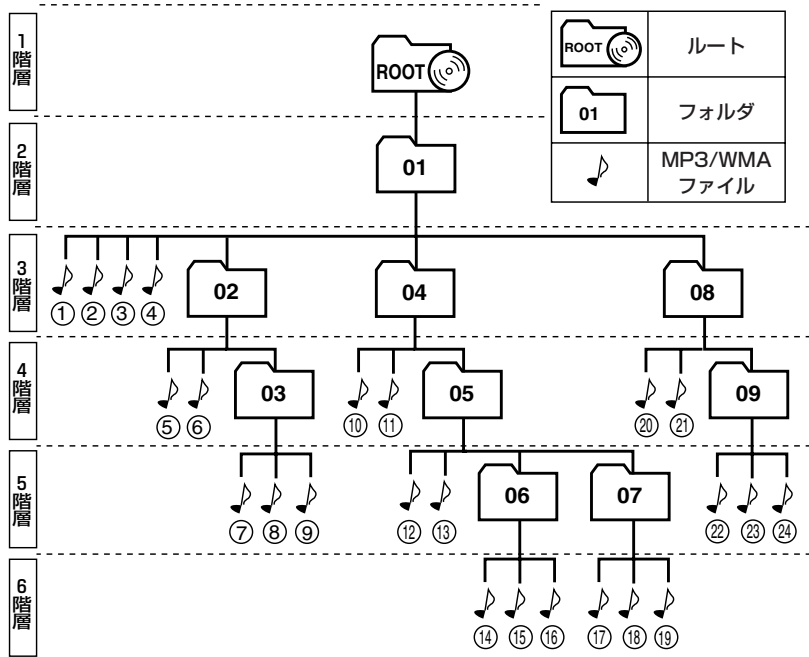
3. 通常表示を押す

〈お知らせ〉

- 曲(ファイル)数が10曲(ファイル)に足りないときは、最後の曲(ファイル)が選ばれます。
- 音楽用CDの場合、最後の曲(ファイル)まで移動した後に次の曲(ファイル)を選ぶと、最初の曲(ファイル)に戻ります。
- MP3/WMAディスクの場合、前後10ファイルずつダイレクトに選べるのは同じフォルダ内のファイルに限ります。

音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く(つづき)

MP3/WMAのフォルダとファイルの演奏順序

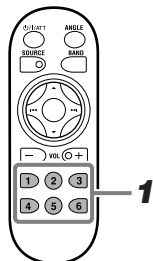


リモコンでダイレクトにフォルダを選ぶ(ダイレクトフォルダアクセス機能)

MP3/WMA ディスクのみ

聞きたいファイルのフォルダがダイレクトに選べます。

この機能を使うためには、あらかじめフォルダの名前の最初の2文字に「01」から「12」までの数字をつけておきます。



1 数字ボタン(1~6)を押す

- フォルダ1~6を選ぶときは、数字ボタンの1~6のいずれかを「ポン」と押します。

例: フォルダ3を選ぶ

③ を「ポン」と押します。

- フォルダ7~12を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。

例: フォルダ12を選ぶ

⑥ を1秒以上押します。

〈お知らせ〉

- 選んだフォルダにMP3/WMAが含まれないときは、「No Music」と表示され、演奏が始まりません。

次または前のフォルダにスキップする

MP3/WMA ディスクのみ

ディスク内のフォルダの演奏順序(例として、左ページの「01」、「02」、「03」…)に従って、フォルダを選ぶことができます。



1

1 または を押す

タッチパネルを押すごとにフォルダが切り換わり、選んだフォルダの最初のファイルの演奏が始まります。押し続けるとフォルダ名リストを表示します。



前のフォルダ
に移動します。

次のフォルダ
に移動します。

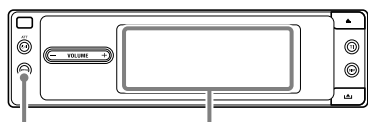
〈お知らせ〉

- MP3/WMAディスクの場合、最後のフォルダ(左ページの例では「09」)まで移動した後に次のフォルダを選ぶと、最初のフォルダ(左ページの例では「01」)に戻ります。また、最初のフォルダまで移動した後に前のフォルダを選ぶと、最後のフォルダに移動します。

プレイリストを見ながら選ぶ

MP3/WMA ディスクのみ

演奏中のMP3/WMAディスクのフォルダ名やファイル名のリストを見ながら選ぶことができます。



1

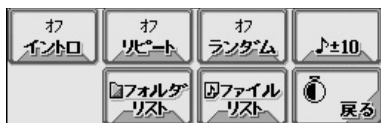
2~4

1 を押す

メニューが表示されます。



2 を押す



3 または を押してリストを表示させる

フォルダ名またはファイル名のリストが表示されます。

例:フォルダ名リスト

現在のフォルダ名



リストには最大6つまで表示されます。7つ目以降のフォルダまたはファイルは、

を押して表示させます。

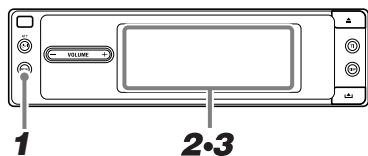
押し続けると1つ前のページが表示されます。

4 リスト(1~6)を押して選ぶ

選んだフォルダまたはファイルの演奏が始まります。

音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く(つづき)

いろいろな再生モードを使用する



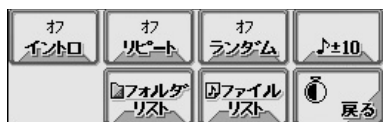
• リピート演奏

1 MENUを押す

メニューが表示されます。



2 モードを押す



3 をくり返し押して、 リピート演奏のモードを選ぶ

タッチパネルを押すごとにモードが切り換わります。

- ▶ **トラック** : 演奏中の曲(ファイル)をくり返し演奏
表示窓に「**RPT**」が表示されます。
- ▶ **フォルダ*** : 演奏中のフォルダ内の全ファイルをくり返し演奏
表示窓に「**FRPT**」が表示されます。
- ▶ **オフ** : リピート演奏を解除

*フォルダ単位でのリピート演奏は、MP3/WMAディスクのとき使えます。

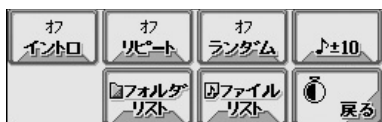
● ランダム演奏

1 MENUを押す

メニューが表示されます。



2 モードを押す



3 オフ ランダム をくり返し押して、ランダム演奏のモードを選ぶ

タッチパネルを押すごとにモードが切り換わります。

- **フォルダ*** : 演奏中のフォルダ内の全曲(ファイル)をランダムに演奏
表示窓に「**GRND**」が表示されます。
- ↓
- ディスク** : 演奏中のCDの全曲(ファイル)をランダムに演奏
表示窓に「**CD RND**」が表示されます。
- ↓
- オフ** : ランダム演奏を解除

*フォルダ単位でのランダム演奏は、MP3/WMAディスクのときに使えます。

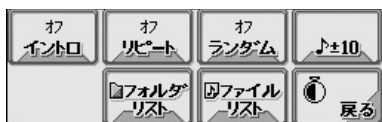
● イントロスキャン

1 MENUを押す

メニューが表示されます。



2 モードを押す



3 オフ イントロ をくり返し押して、イントロスキャンのモードを選ぶ

タッチパネルを押すごとにモードが切り換わります。

- **トラック** : 各曲(ファイル)の頭を15秒ずつ演奏
表示窓に「**♪ INT**」が表示されます。
- ↓
- フォルダ*** : 各フォルダの最初のファイルの頭を15秒ずつ演奏
表示窓に「**♪ INT**」が表示されます。
- ↓
- オフ** : イントロスキャンを解除

*フォルダ単位でのイントロスキャンは、MP3/WMAディスクのときに使えます。

- 聞きたい曲(ファイル)が見つかったら、**♪01**を押してイントロスキャンを解除します。
- 一通りイントロスキャンが終わると、自動で解除されます。

〈お知らせ〉

- それぞれの再生モードは同時に使用することはできません。

音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く(つづき)

ディスク演奏中の表示内容を変える

1 DISP を押す

ボタンを押すごとに、次のように表示が切り換わります。

・音楽用CDのとき

ディスク名*1



↓ 曲名*2



↓ レベルメーター



↓ ダウンロードした画像 (⇒ 37~41ページ)



*1 CDのときは、ディスク名を入力すると表示されます。入力する前は「No Name」と表示されます。ディスク名の入力については55ページの「文字の入力のしかた」をご覧ください。

*2 曲名はCD TEXTのみ表示されます。

〈お知らせ〉

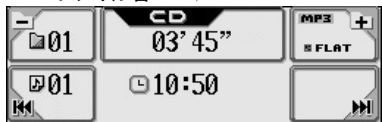
- 半角16文字(全角8文字)を超えると、CD名や曲名はスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする設定「1回」(お買い上げ時の状態)になっています。「繰り返し」(自動)または「Off」(切)に変えることもできます(⇒ 45、46ページ)。

・MP3/WMAディスクのとき (Tag設定が「Off」のとき)

フォルダ名*3



↓ ファイル名



↓ レベルメーター



↓ ダウンロードした画像 (⇒ 37~41ページ)



*3 Tag情報のあるファイルのときは、「タグ表示」設定を「On」にするとアルバム/演奏者名が表示されます(⇒ 45、47ページ)。Tag情報がない場合は「No Name」と表示されます。

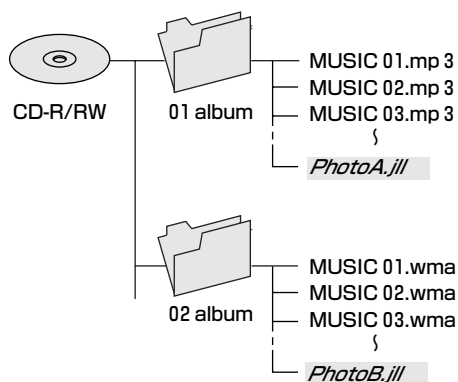
〈お知らせ〉

- 文字表示は半角英数字、半角カタカナ、全角文字が表示されます。
- 対応以外の文字が入力してあると、正しく表示されません。

ミュージックリンクについて

ミュージックリンク(Music Link)は、イメージコンバーターで作成した画像を、お好みの音楽に合わせて表示させる機能です。


MP3/WMAファイル(音楽)とイメージコンバーターで作成した静止画を1点、同じフォルダに保存し、これをCD-R/RWに書き込みます。このフォルダを再生すると、音楽の演奏中にお好みの静止画を本機の表示窓に表示させることができます。



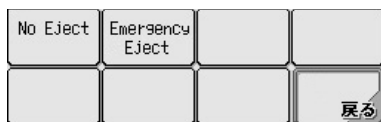
- 同じフォルダに複数の静止画があるときは、初めに表示された静止画のみ表示されます。
- ミュージックリンクの「On/Off」について詳しくは、46ページ「PSMモードの機能説明(1)」の「デモアニメ」をご覧ください。デモアニメ(MusicLink)の表示中に、タッチパネルを操作するときは、一度タッチパネルに触れてアニメ表示を解除してから、操作してください。

ディスクの盗難防止

本機に挿入したディスクを取り出せなくすることができます。

1 ATT (CD) を押しながら  を同時に2秒以上押す

メニューが表示されます。



2 No Eject を押す

「No Eject」が点滅し、ディスクの取り出しができなくなります。▲(CD取り出し)ボタンを押すとCDの挿入口が現れますが、ディスクは出てきません。ディスクを取り出すには、もう一度手順1の操作をして「Eject OK」を押します。「Eject OK」が点滅し、ディスクの取り出しができるようになります。

動作の不具合などで、CDを強制的に取り出すときは、 を押します。

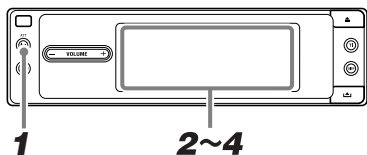
〈お知らせ〉

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く

- 準備** ● CDチェンジャー内のマガジンに聞きたいCDを入れておきます。

全曲演奏 (全CDのくり返し演奏)



- 1** **ATT** (電源) を押して電源を入れる



タッチパネルに電源を切る前のソース(音源)が表示されます。

- 2** **TUNER** を押してソース(音源)リストを表示させる



選択できるソース(音源)が表示されます。

- 3** **CD-CH** を押してソース(音源)を「CD-CH」にする

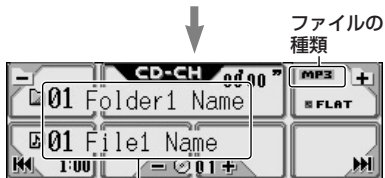


- 4** **-** **01** **+** を押してディスクを選ぶ

再生が始まります。



- MP3ディスクのとき
ファイルチェック後、最初のディスクのファイル1から演奏が始まります。



- 演奏を途中でやめる

手順2で「CD-CH」以外のソース(音源)を選ぶが、または電源を「切」にします。

〈お知らせ〉

- MP3ディスクの項目は、MP3チェンジャーを本機に接続しているときに限ります。

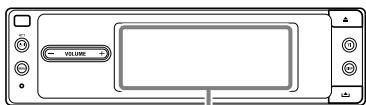
CD演奏中の表示内容を変える

DISP を押します。

ボタンを押すごとに表示窓の表示内容が切り換わります(⇒ 28ページ)。

早送り/早戻しをする(サーチ)

演奏する速度を変えて、聞きたいフレーズに素早く移動できます。



1

1 または を押し
続ける



早戻し演奏になります。

早送り演奏になります。

タッチパネルを離すと、通常の演奏に戻ります。

頭出しをする(スキップ)

前後の曲(ファイル)の頭にスキップすることができます。

1 または を押し



現在の曲の頭または、
前の曲の頭に移動します。

次の曲の頭に
移動します。

タッチパネルを押すごとに前後の曲
(ファイル)の頭に移動します。

リモコンでダイレクトにディスクを選ぶ

リモコンでディスクをダイレクトに選びます。



1

リモコンのみ

1 数字ボタン(1~6)を押す

- 1~6枚目を選ぶときは、数字ボタンの1~6のいずれかを「ポン」と押します。

例: 3枚目を選ぶ

3 を「ポン」と押します。

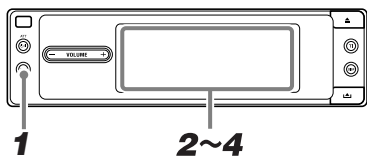
- 7~12枚目を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。

例: 12枚目を選ぶ

6 を1秒以上押します。

CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く(つづき)

10曲ずつダイレクトに選ぶ

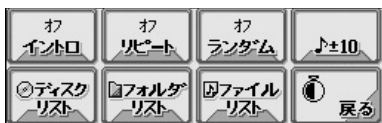


1 MENUを押す

メニューが表示されます。



2 モードを押す



3 曲 ±10を押す



前の10曲目に
移動します。

次の10曲目に
移動します。

4 「-10」や「+10」をくり返し 押して曲(ファイル)を選ぶ

もっとも近い10の倍数(10、20、30…)の曲(ファイル)番号に変わります。その後はタッチパネルを押すごとに、10ずつ曲(ファイル)番号が変わります。

例: 曲(ファイル)番号1の演奏中に曲番号32を選ぶときは

1. 手順1~4を行う
手順4で、「+10」を3回押します。

2. 通常表示を押す



3. 曲 ±10を押す

〈お知らせ〉

- 曲(ファイル)数が10曲(ファイル)に足りないときは、最後の曲(ファイル)が選ばれます。
- MP3ディスクの場合、前後10ファイルずつダイレクトに選べるのは同じフォルダ内のファイルに限ります。
- MP3対応チェンジャー以外のCH-Xシリーズ(CH-X99を除く)を接続しているときは、曲 ±10が表示されますが、使用できません。

次または前のフォルダにスキップする

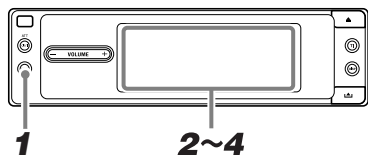
MP3 ディスクのみ

1 曲 01 または MP3 + FLATを押す

タッチパネルを押すごとにフォルダが切り換わり、選んだフォルダの最初のファイルの演奏が始まります。

プレイリストを見ながら選ぶ

CD名やフォルダ名、曲(ファイル)名のリストを見ながら選ぶことができます。

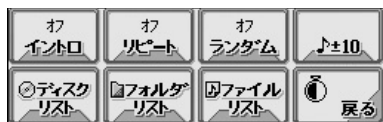


1 MENUを押す

メニューが表示されます。



2 モードを押す



「フォルダリスト」、「ファイルリスト」はCDチェンジャーでMP3ディスクを再生しているときに限り表示されます。

3 ディスク リストを押す

演奏中のディスク



ディスクリストが表示されます。演奏中のディスクは反転表示されます。MP3ディスクを選択したときは「フォルダリスト」を押してフォルダを選びます。リストには最大6枚目まで表示されます。7枚目以降のディスクは、を押して表示させます。

・ CD TEXTのディスク名の一部が表示されます。ディスク名が入力されていないときは「Disc 03」のように表示されます。

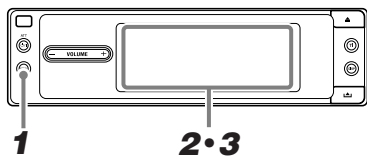
4 リスト(1~6)を押して曲(ファイル)を選ぶ

〈お知らせ〉

- または を押し続けるとディスクリストが表示されます。
- MP3ディスクの場合、 または を押し続けるとフォルダリストが表示されます。

CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く(つづき)

いろいろな再生モードを使用する



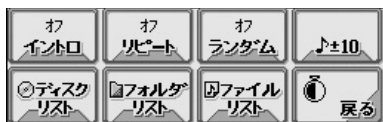
● リピート演奏

1 MENUを押す

メニューが表示されます。



2 モードを押す



3 オフ リピート をくり返し押して、 リピート演奏のモードを選ぶ

タッチパネルを押すごとにモードが切り換わります。

→ **トラック** : 演奏中の曲(ファイル)をくり返し演奏
表示窓に「**TRPT**」が表示されます。

↓
フォルダ* : 演奏中のフォルダ内の全ファイルをくり返し演奏
表示窓に「**FRPT**」が表示されます。

↓
ディスク : 演奏中のCDの全曲(ファイル)をくり返し演奏
表示窓に「**CD RPT**」が表示されます。

↓
オフ : リピート演奏を解除

*フォルダ単位でのリピート演奏は、MP3ディスクのときに使えます。

〈お知らせ〉

- それぞれの再生モードは同時に使用することはできません。
- 「フォルダリスト」、「ファイルリスト」はCDチェンジャーにMP3ディスクを挿入しているときに表示されます。

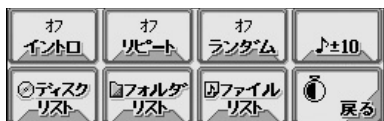
●ランダム演奏

1 **MENU**を押す

メニューが表示されます。



2 **モード**を押す



3 **オフ ランダム** をくり返し押して、
ランダム演奏のモードを選ぶ

タッチパネルを押すごとにモードが切り換わります。

- **フォルダ*** : 演奏中のフォルダ内の全ファイルランダムに演奏
表示窓に「**CD RND**」が表示されます。
- ↓
- ディスク** : 演奏中のCDの全曲(ファイル)ランダムに演奏
表示窓に「**CD RND**」が表示されます。
- ↓
- オール** : マガジン内の全CDをランダムに演奏
表示窓に「**ALL RND**」が表示されます。
- ↓
- オフ** : ランダム演奏を解除

* フォルダ単位でのランダム演奏は、MP3ディスクのときに使えます。

●イントロスキャン

1 **MENU**を押す

メニューが表示されます。



2 **モード**を押す



3 **オフ イントロ** をくり返し押して、
イントロスキャンのモードを選ぶ

タッチパネルを押すごとにモードが切り換わります。

- **トラック** : 演奏中のCDの各曲(ファイル)の頭を15秒ずつ演奏
表示窓に「**INT**」が表示されます。
- ↓
- フォルダ*** : 演奏中フォルダの最初の曲(ファイル)の頭を15秒ずつ演奏
表示窓に「**CD INT**」が表示されます。
- ↓
- ディスク** : マガジン内の全CDの各曲(ファイル)の頭を15秒ずつ演奏
表示窓に「**CD INT**」が表示されます。
- ↓
- オフ** : イントロスキャンを解除

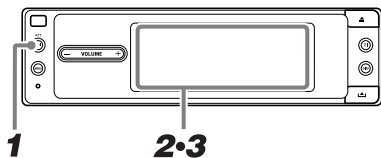
* フォルダ単位でのイントロスキャンは、MP3ディスクのときに使えます。

- 聞きたい曲(ファイル)が見つかったら、
を押してイントロスキャンを解除します。

他の機器の音を聞く

準備

- LINE IN端子に市販のカーAV機器を接続しておきます。
→別紙の取付説明書参照



1 を押して電源を入れる



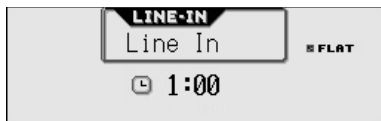
タッチパネルに電源を切る前のソース(音源)が表示されます。

2 を押してソース(音源)リストを表示させる



選択できるソース(音源)が表示されます。

3 を押してソース(音源)を「LINE-IN」にする



4 接続した機器の演奏を始める

- 接続した機器に音量調節があるときは、FM放送の音量と同じ程度に聞こえるように調節してください。

〈お知らせ〉

- 接続ができる他の機器は、RCAの2チャンネル出力端子付のものを用意してください。接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく配線してください。
- FM放送より音量が小さい(または大きい)ときは、ソース(音源)ごとの音量差を調節することができます。(→ 54ページ)

画像データをダウンロードする

ダウンロードをする前に

付属のCD-ROM(イメージコンバーター*)を使うと、電源の「入/切」やソース(音源)の再生音に合わせてお好みの画像をタッチパネル(表示窓)に表示させることができます。

* イメージコンバーターとは

JVCのオリジナルソフトウェアで、自作の映像を本機のタッチパネル(表示窓)に表示させるために、編集・加工することができます。

● CD-R/RWにお気に入りの画像を書き込む

1 イメージコンバーターをパソコンにインストールする

2 イメージコンバーターを起動させる

3 素材画像を読み込む

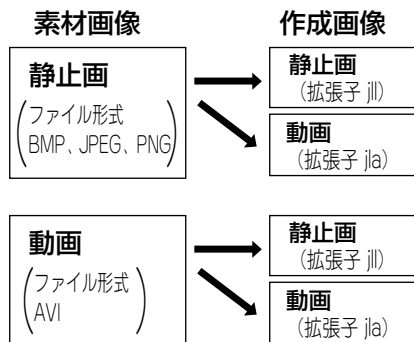
この画像を編集・加工して行きます。静止画または動画を素材画像として使うことができます。

画像は、次のようなメディアから手に入れることができます。

- ・ Web(JVCのホームページなどより)
- ・ デジタルカメラ、デジタルビデオカメラなどのオリジナル映像
- ・ 付属のCD-ROMにもサンプル画像が収録されています

4 画像を作成する

素材画像の形式に関わらず、静止画または動画を作成することができます。



5 作成した画像に効果を加える

各種の効果をつけたり、文字の入力を行うことができます。

6 CD-R/RWに画像を書き込む

- ・ CD-R/RWへの書き込みについて詳しくは、お使いのライティングソフトの取扱説明書をご覧ください。

⋮

- ・ 作成したCD-R/RWを本機に入れ、静止画または動画をダウンロードします。

画像データをダウンロードする(つづき)

- **ファイル名の拡張子は**
静止画が<jll>、動画が<jla>です。

- **ダウンロードは**
ソース(音源)が「CD」のとき操作できません。本機に付属のCD-ROMまたは画像を書き込んだCD-R/RWを入れてください。

- **ダウンロードや画像の消去は**
 - ・ 運転中に操作しない
 - ・ 途中でエンジンキーを「OFF」にしない
 - ・ 本機で他の操作をしない事故の原因となったりダウンロードや画像の消去が正しくできないことがあります。

- **ダウンロードが終わるまでの時間**
 - ・ 静止画は、1フレーム当たり約3~4秒かかります。
 - ・ 動画は30フレームで約1分、90フレームで約3分かかります。

〈お知らせ〉

- リセットボタンを押したり、バッテリーの交換などで本機への電源が途切れてもダウンロードした画像は消去されません。

- **ダウンロードした画像の楽しみかた**

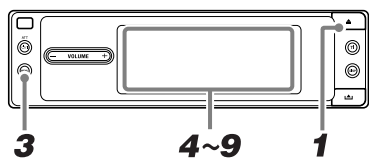
起動アニメ } : 電源「入/切」時のデモ
終了アニメ } アニメーションを設定するとき選びます。それぞれ最高30フレームまでの動画を1ファイルずつ保存できます。

動画 : 最高90フレームまでの動画を1ファイル保存できます。

静止画 : 静止画を本機に保存しておくとき選びます。30枚まで保存できます。保存した画像は、壁紙やスライドショーで楽しめます。

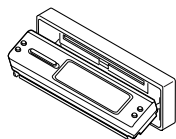
各設定方法は**42**ページの「**表示窓の画像を変える**」をご覧ください。

画像データをダウンロードする



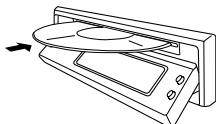
1 を押す

コントロールパネルが開いてディスクの挿入口が現われます。



2 付属のCD-ROMまたは画像を書き込んだCD-R/CD-RWを入れる

- ・ 文字のある面を上にして入れます。
- ・ フォルダ数とファイル数が表示されます。

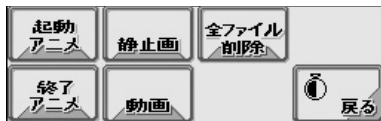


3 を押す

メニューが表示されます。



4 を押す



5 「起動アニメ」、「終了アニメ」「静止画」、「動画」からダウンロードする画像の用途を選ぶ



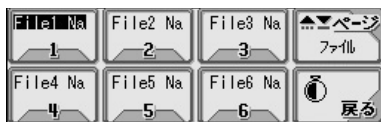
6 を押す

フォルダ一覧が表示されます。



7 フォルダ番号を押す

現在選択されているフォルダを選ぶときは1回、それ以外のフォルダを選ぶときは2回押します。



画像データをダウンロードする(つづき)

8 ファイルを選ぶ


選んだファイル名が表示されます。



9 OKを押す

ダウンロードが始まります。



- ダウンロード中は車のエンジンキーを「OFF」にしないでください。
- 手順7で選んだファイル選択画面に戻るとダウンロードは終了です。
- ダウンロードが終わったら
DISP を押します。
 を押すとひとつ前の画面に戻ります。

〈お知らせ〉

- 「起動アニメ」、「終了アニメ」または「動画」はそれぞれ1つ登録できます。新たにダウンロードすると、自動的に上書きします。登録済みの動画は削除されます。
- 「起動アニメ」または「終了アニメ」を選択したとき、30フレーム以上の動画は最初の30フレームまでを登録します。
- 「動画」を選択したとき、90フレーム以上の動画は最初の90フレームまでを登録します。
- 「静止画」のダウンロードで静止画が30枚になると、これ以上はダウンロードできません。31枚以上ダウンロードしようとする、「Picture Full」と表示されます。いらない静止画を削除してからダウンロードします。
- 動作環境などによりダウンロードがうまくできないこともあります。このようなときは、ダウンロードをやり直してください。
- ダウンロードした画像データを設定するには42ページの「表示窓の画像を変える」を行ってください。この操作をしないとダウンロードした画像が使いません。

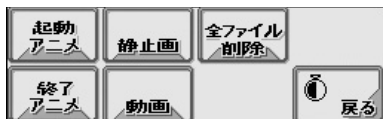
画像を消去する



2~5

1 39ページの手順3、4をくり返す

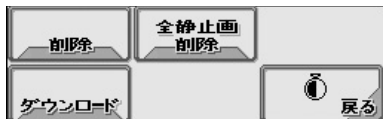
メニューが表示されます。



すべての画像を消去するときは、「全ファイル削除」を押します。

2 静止画 を押す

「起動アニメ」、「終了アニメ」または「動画」を消すときは、それぞれのボタンを押します。



すべての静止画を消去するときは、「全静止画削除」を押します。

3 削除 を押す

ファイル一覧が表示されます。



4 消去する画像を選ぶ

消去するファイル名が表示されます。



5 OK を押す

消去が始まります。



● 消去が終わったら

(DISP) を押します。



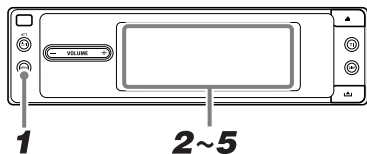
を押すとひとつ前の画面に戻ります。

〈お知らせ〉

- 画像を消去しているときは、他の操作はできません。消去が終わってから操作してください。
- 続けて画像を消去するときは、手順4、5を繰り返します。

表示窓の画像を変える

- アニメを設定する



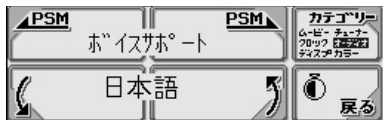
電源「入/切」時に設定したアニメが表示されます。

1 MENUを押す

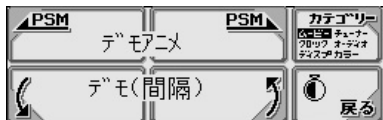
メニューが表示されます。



2 PSMを押す



3 カテゴリをくり返し押し 「ムービー」を選ぶ



4 PSMをくり返し押し 「起動アニメ」か「終了アニメ」を選ぶ

- 「起動アニメ」設定に画像を保存していないときは、「起動アニメ」項目は表示されません。
「終了アニメ」設定に画像を保存していないときは、「終了アニメ」項目は表示されません。

5 間隔)を押して 「ユーザー」を選ぶ

- 初期 : 工場出荷時の画像を使います。
- ユーザー : 保存した画像データを使います。

- 設定が終わったら

DISP を押します。

戻るを押すとひとつ前の画面に戻ります。

電源「入/切」時に設定したアニメが表示されます。

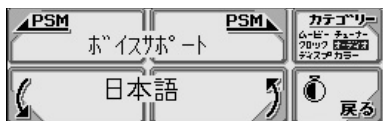
- タッチパネル(表示窓)に表示する動画または静止画の種類を設定する

1 MENUを押す

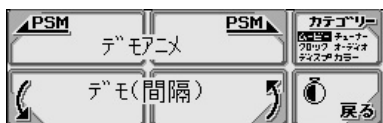
メニューが表示されます。



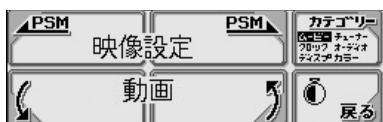
2 PSMを押す



3 カテゴリーをくり返し押しして「ムービー」を選ぶ



4 PSM デモアニメ PSM をくり返し押しして「映像設定」を選ぶ



5 静止画をくり返し押しして項目を選ぶ

動画 : 「動画」に保存した画像データを使います。

スライドショー : 「静止画」に保存した全ての画像データを5秒間隔で連続写真のように使います。

静止画 : 「静止画」に保存した画像データを1枚だけ使います。

- 設定が終わったら

DISP を押します。

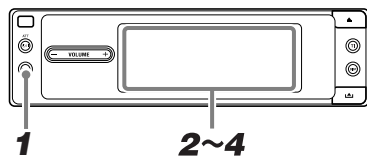
戻る を押すとひとつ前の画面に戻ります。

ご注意

タッチパネル(表示窓)の画像表示は、デモアニメ(MusicLink)で設定した内容が優先されます。上記の設定を優先させるには、「デモアニメ」設定を「Off」にしてください。

各種設定と調節

PSMモードの設定方法

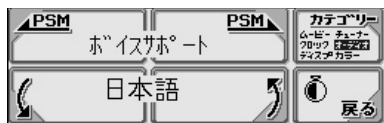


1 MENUを押す

メニューが表示されます。

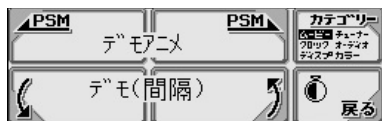


2 PSMを押す

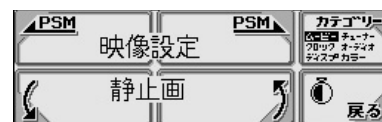


3 カテゴリをくり返し押して

カテゴリを選ぶ



4 デモアニメをくり返し押して項目を選び、設定または調節する



- 設定が終わったら

DISPを押します。

戻るを押すとひとつ前の画面に戻ります。

〈お知らせ〉

- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- バッテリー交換などで本機への電源がとぎれると、設定した内容は初期設定に戻ります。

PSMモードの一覧(1)

	メニュー表示	設定値	初期設定	参照ページ
ムービー	デモアニメ デモ画面設定	46ページ参照	MusicLink	46
	映像設定 映像設定	46ページ参照	静止画	46
	アニメーション アニメ表示の設定	On ↔ Off	On	46
	起動アニメ*1 オープニングアニメ設定	初期 ↔ ユーザー	初期	42
	終了アニメ*1 エンディングアニメ設定	初期 ↔ ユーザー	初期	42
	静止画*2 静止画像設定	保存したファイルから選択	最初に保存したファイル	43

*1 画像をダウンロードしていないときは表示されません。

44 *2 画像をダウンロードし、「映像設定」を「静止画」に設定していないときは表示されません。

PSMモードの一覧(2)

メニュー表示		設定値	初期設定	参照ページ
クロック	時計(時) 時計設定(時)	戻す ↔ 進める	1 (1:00AM)	13
	時計(分) 時計設定(分)	戻す ↔ 進める	00 (1:00AM)	13
	24H/12H 時計設定(24/12時間表記)	12時表示 ↔ 24時表示	12時表示	13
ディスプレイ ディスプレイ	文字スクロール スクロール設定	1回 ↕ ↔ 繰り返し ↕ Off ↕	1回	46
	ディマー ディマー設定	↔ ライト連動 ↔ Off ↔ タイムコントロール ↔ On ↕	ライト連動	46
	On- Off*3 ディマー時刻設定	開始/終了時刻を設定	6PM - 7AM	46
	コントラスト コントラスト設定	1 ~ 10	5	46
	LCD タイプ 液晶表示設定	ディマー連動 ↔ ポジ ↕ ネガ ↕	ディマー連動	47
	タグ表示 タグ表示設定	Off ↔ On	On	47
	レベルメーター レベルメーター選択	メーター 1 ↔ メーター 2 ↕ メーター 3 ↕	メーター 1	47
	タッチキー表示 キー表示設定	Off ↔ On	On	47
	言語選択 表示言語設定	English ↔ 日本語	日本語	47
チューナー	受信地域 チューナー設定	↔ 設定なし ↔ 北海道 ↔ 沖縄 ↔ ... ↕	設定なし	47
	IFフィルター IFフィルター設定	ワイド ↔ オート	オート	15
オーディオ	ボイスサポート 音声サポート設定	日本語 ↔ ビープ音 ↕ English ↕	日本語	48
	ボイス音量 音声サポート音量設定	Off ↔ 1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4	2	48
	ミュート設定 ミューティング設定	Off ↔ ミュート 1 ↕ ミュート 2 ↕	Off	48
	アンプゲイン アンプ出力設定	Max音量50 ↔ Max音量30 ↕ Off ↕	Max音量50	48
カラー	オールソース 表示色設定	48ページ参照	12色切換	48
	R 赤色	00 ~ 11	ディマー-OFF : 7/ ディマー-ON : 5	49
	G 緑色	00 ~ 11	ディマー-OFF : 7/ ディマー-ON : 5	49
	B 青色	00 ~ 11	ディマー-OFF : 7/ ディマー-ON : 5	49

*3 「ディマー」が「タイムコントロール」に設定されていないときは表示されません。

各種設定と調節(つづき)

PSMモードの機能説明(1)

PSMメニュー：ムービー

デモアニメ

表示窓のデモ表示を設定します。

- ・デモ(常時)*1 : 20秒以上何も操作をしないとデモ表示になります。
- ・MusicLink : MP3/WMAのフォルダから曲(ファイル)の演奏に合わせて好みの静止画を表示することができます。
- ・デモ(間隔) : 20秒以上何も操作をしないとソース(音源)表示が20秒間隔でデモ表示になります。
- ・Off : デモ表示なし。

*1デモ(常時)について

景色、EQ設定アニメなどを表示します。

映像設定

表示窓のグラフィック表示を設定します。

- ・動画*2 : 「動画」に保存したアニメをデモ表示します。
- ・スライドショー*3 : 「静止画」に保存した画像を順番に表示します。
- ・静止画*3 : 「静止画」に保存した画像をデモ表示します。

*2「動画」にアニメをダウンロードしていないときは表示されません。詳しくは「画像データをダウンロードする」(⇒ 37~40ページ)をご覧ください。

*3「静止画」に画像をダウンロードしていないときは表示されません。詳しくは「画像データをダウンロードする」(⇒ 37~40ページ)をご覧ください。

アニメーション

電源の「入/切」、ソース(音源)切り換え、EQの選択時などに表示される動画アニメを設定します

- ・On : ソース(音源)切り換えるアニメを表示します。
- ・Off : ソース(音源)切り換えるアニメを表示しません。

起動アニメ

電源を「入」にしたときに表示される動画アニメを設定します。詳しくは42ページをご覧ください。

- ・初期 : 通常のアニメを表示します。
- ・ユーザー : ダウンロードしたアニメを表示します。

終了アニメ

電源を「切」にしたときに表示される動画アニメを設定します。詳しくは42ページをご覧ください。

- ・初期 : 通常のアニメを表示します。
- ・ユーザー : ダウンロードしたアニメを表示します。

静止画

ダウンロードした静止画の中から、デモ表示させる画像を選びます。ダウンロードした画像がないときは、表示されません。

- ・画像名

PSMメニュー：ディスプレイ

文字スクロール

表示窓の文字表示(16文字以上)がスクロール表示されるとききのモードを変えることができます。

- ・1回 : 名前表示を切り換えたととき1回スクロールする。
- ・繰り返し : 一定間隔でスクロールをくり返す。
- ・Off : DISPボタンを1秒以上押しただけスクロールする。

放送局名は、スクロール表示されません。

ディマー

表示窓および各ボタンの明るさを状況に応じて変更することができます。

- ・ライト運動 : 車両のライトを「ON」にするときと変わります。車両によってはうまく働かないことがあります。

(本機のイルミネーションコントロールコードを車両のイルミ電源に接続しておきます)

- ・Off : 変わりません。
- ・On : 常時暗くなります。
- ・タイムコントロール : 「On-Off」で設定した時刻になると自動的にディマーが働きます。

On-Off*

設定した時刻になるとディマーが自動で働きます。「On」で設定した時刻になると自動でディマーがオンになり、「Off」で設定した時刻になると自動的にオフになります。

* On-Offの項目は「ディマー」が「タイムコントロール」に設定されていないときは表示されません。

コントラスト

表示窓のコントラストを調節することができます。運転席から表示窓がよく見えるように調節します。

- ・1~10の範囲で調節できます。

PSMモードの機能説明(2)

LCDタイプ(液晶表示)

お好みに合わせて表示窓のタイプを選ぶことができます。

- ・ポジ : 通常のタイプ
- ・ネガ : 通常の反転表示
- ・ディマー連動 : ディマーの設定に従います。
ディマー「OFF」: ポジ
ディマー「ON」: ネガ

タグ表示

MP3/WMAディスクのタグ表示を「オン/オフ」することができます。

- ・On : タグ表示をする。
- ・Off : タグ表示をしない。

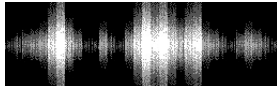
レベルメーター

レベルメーターの表示を下の3つの中から選ぶことができます。

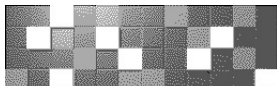
- ・メーター 1



- ・メーター 2



- ・メーター 3



タッチキー表示

タッチパネルに表示されるボタンの枠線表示を「オン/オフ」することができます。

- ・On : 表示をする。
- ・Off : 表示をしない。

言語選択

表示言語を選択できます。

- ・日本語 : 日本語で表示します。
- ・English : 英語で表示します。

PSMメニュー：チューナー

受信地域

お使いになる地域の放送局を受信したとき、自動でその放送局名を表示させることができます。

- ・設定なし : 放送局名は表示しません。
- ・北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄 : 「ご利用の地域」を選んでください。

(地域ごとの放送局名は、「放送局名一覧」
(⇒ 58～61ページ)をご覧ください)

IFフィルター

隣接妨害波の影響を軽減することができます。

- ・オート : 隣接妨害波の有無によって自動でIFフィルターの帯域幅を切り換えます。
- ・ワイド : 通常の帯域幅のIFフィルターに固定します。

各種設定と調節(つづき)

PSMモードの機能説明(3)

PSMメニュー：オーディオ

ボイスサポート

タッチパネル操作時の音を切り換えることができます。

- ・ビープ音： ビープ音(「ピッ」音)
- ・English： 英語音声
- ・日本語： 日本語音声

ボイス音量

ボイスサポートの音量を調節することができます。

- ・1~4： 音声レベルが4段階で調節できます。
- ・Off： 本機能を使用しないとき。

ミュート設定

市販のカーナビゲーションのボイスコマンド入力時または音声ガイド中に、本機の音声を一時的に消音(ミュート)することができます。

- ・ミュート1： 通常はこれを選びます。**「ミュート」**コード(茶)を接続したあと、ミュートが「オン/オフ」することを確認してください。
- ・ミュート2： ミュート1ではミュートが「オン/オフ」しないとき。ミュートが「オン/オフ」することを確認してください。
- ・Off： 本機能を使用しないとき。またはミュート1/2ともミュートが正しく動作しないとき、この位置にします。

なお、ミュートによって音声が出ないときは、本機の表示窓に「Muting」が白黒反転表示されます。

アンプ ゲイン

純正スピーカーを壊さないために、本機に接続しているスピーカーの最大入力ワット数に合わせて設定します。また、本機をプリアンプとして使うこともできます。

- ・Max音量50： スピーカーの最大入力が50Wを超えるとき
(Volume 0 ~ Volume 50)
- ・Max音量30： スピーカーの最大入力が50W以下のとき
(Volume 0 ~ Volume 30)
- ・Off： 内蔵のパワーアンプを使用しないとき(プリアンプとして使います)

Volumeが30以上に設定されているときに設定をMax音量30に変更すると、自動的にVolumeが30に変更されます。

PSMメニュー：カラー

オールソース


49~50ページをご覧ください。


表示窓の色を変更する




表示窓をお好みの色に調節することができます。ソース(音源)ごとに設定することもできます。

1 を押す




メニューが表示されます。


SEL	PSM	i-EQ	1 アングル
モード	3D Drive	文字入力	 戻る

2 を押す

 PSM	ホイスサポート	PSM 	カテゴリ 6-ピッチ、オーディオ 20ビット、オーディオ ディスプレイカラー
	日本語		 戻る



3 をくり返し押して
「カラー」を選ぶ

 PSM	ソース	PSM 	カテゴリ 6-ピッチ、オーディオ 20ビット、オーディオ ディスプレイカラー
	ユーザー カラー		 戻る

4 をくり返し押して設
定するソース(音源)を選ぶ

```

    graph TD
      A[オールソース] --> B[CD]
      B --> C[Changer]
      C --> D[FM]
      D --> E[Line In]
      E --> F[AM]
      F --> A
  
```

5  または  をくり返
し押して、設定または調節する



次のように設定色が切り換わります。

- 12色切換*1 ↔ アクア ↔ スカイブルー
 ↔ マリンブルー ↔ イエローリーブ ↔
 グリーングラス ↔ アップルレッド ↔
 ローズレッド ↔ アンバー ↔
 ハチミツイエロー ↔ バイオレット ↔
 グレープ ↔ ライトブルー ↔
 ユーザーカラー*2 ↔ (最初に戻る)

*1 「12色切換」を選ぶと、表示窓が「アクア」から「ライトブルー」までの色に2秒間隔で変化します。

*2 「ユーザーカラー」を選ぶと、「ディマーOFF」と「ディマーON」の2つのユーザー設定ができます。詳しくは、50ページをご覧ください。

6 手順4、5をくり返してソース(音源)ごとの色を選ぶ

- 設定が終わったら
 または  を押します。

各種設定と調節(つづき)

表示窓の色を変更する(つづき)

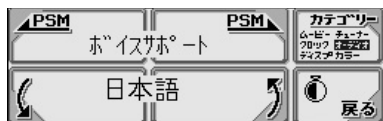
- お好みの色を設定する

1 MENUを押す

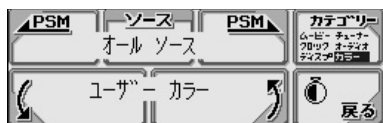
メニューが表示されます。



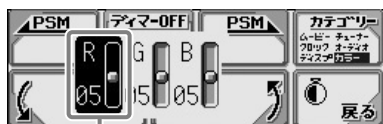
2 PSMを押す



3 カテゴリをくり返し押して「カラー」を選ぶ



4 ディーマーOFFを押して「ディーマーOFF」または「ディーマーON」を選ぶ



設定中の色

ディーマーOFF：日中の表示窓の色を設定します。
ディーマーON：夜間の表示窓の色を設定します。

日中/夜間の設定は、「ディーマー」設定で次のようになります。

ライト連動：ヘッドライトを点灯させると、夜間の色になります。日中の表示窓の色を設定します。

Off：常に日中の表示窓の色に設定します。

On：常に夜間の表示窓の色に設定します。

タイム：タイマー設定した時間で、夜間の表示窓の色になります。

5 または をくり返し押し調節する色を選ぶ

選ばれた色が反転表示されます。

6 をくり返し押し調節する

7 手順5、6をくり返して色を調節する

- 設定が終わったら

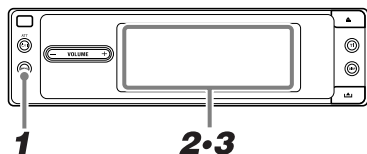
DISP または 戻る を押します。

iEQ*の使いかた

EQパターンを選ぶ

本機には、あらかじめ9つのEQパターンがメモリーされています。

「USER1」～「USER3」には、お好みのEQパターンが設定できます。



● 選択可能なEQパターン

- ・ FLAT : フラットな音で出力されます
- ・ HARD ROCK : ハードロック
- ・ R & B : リズム&ブルース
- ・ POP : ポップス
- ・ JAZZ : ジャズ
- ・ DANCE : ダンスミュージック
- ・ COUNTRY : カントリーミュージック
- ・ REGGAE : レゲエ
- ・ CLASSIC : クラシック
- ・ USER1 } : ユーザー設定
- ・ USER2 }
- ・ USER3 }

1 MENUを押す

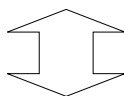
メニューが表示されます。



2 i-EQを押す



リスト切替を押すごとに画面が切り換わります。



3 EQパターンを選ぶ

- 設定が終わったら

DISPを押します。

戻るを押すとひとつ前の画面に戻ります。

＜お知らせ＞

- USER1～USER3には、調節したEQパターンのバンドとレベルがメモリーできます(⇒52ページ)。お買い上げ時はFLATと同じEQパターンになっています。
- FLAT～CLASSICには、ご自分で調節したEQパターンはメモリーできません。
- 本機の動作の不具合などでリセットボタンを押すと、調節したEQパターンはFLATと同じEQパターンに戻ります。

* iEQとは：
intelligent Equalizer(インテリジェントイコライザー)の略で等化器とも呼ばれ、周波数特性に変化を与える回路の総称です。

iEQの使いかた(つづき)

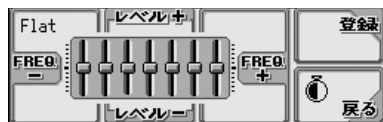
調節したEQを記憶(メモリー)する



2~6

1 調節したいEQパターンを選ぶ

51ページの手順1~3を参照してください。
例:「FLAT」を選んだ場合



2 [FREQ-] や [FREQ+] を押して調節するバンドを選ぶ

次のバンドが調節できます。

バンド	EQレベル
60Hz	-05~00~+05
150Hz	-05~00~+05
400Hz	-05~00~+05
1kHz	-05~00~+05
2.4kHz	-05~00~+05
6kHz	-05~00~+05
12kHz	-05~00~+05

3 [レベル+] や [レベル-] を押してEQレベルを調節する

調節を途中でやめるときは [DISP] を押します。

4 手順2~3をくり返してEQレベルを調節する

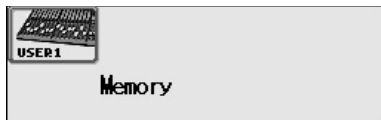
5 [登録] を押す

調節したEQレベルの保存画面が表示されます。



6 [USER1] のいずれかを押す

調節したEQレベルが記憶されます。
通常画面に戻ります。



〈お知らせ〉

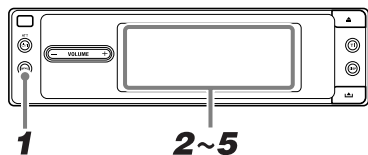
- それぞれのEQパターンはあらかじめEQレベルが調節されています。「FLAT」のEQレベルはすべて「00」です。

EQパターン	調節されているEQレベル						
	60Hz	150Hz	400Hz	1kHz	2.4kHz	6kHz	12kHz
HARD ROCK	+03	+03	+01	00	00	+02	+01
R & B	+03	+02	+02	00	+01	+01	+03
POP	00	+02	00	00	+01	+01	+02
JAZZ	+03	+02	+01	+01	+01	+03	+02
DANCE	+04	+02	00	-02	-01	+01	+01
COUNTRY	+02	+01	00	00	00	+01	+02
REGGAE	+03	00	00	+01	+02	+02	+03
CLASSIC	+02	+03	+01	00	00	+02	00

音量の調節

スピーカーの音量を調節する

左右のスピーカーからの音声の出力バランスや、前後の出力バランスを調節します。

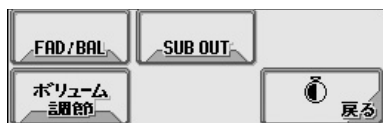


1 MENUを押す

メニューが表示されます。



2 SELを押す



3 FAD/BALを押す



4 前や後をくり返し押し てフェーダーを調節する

5 左や右をくり返し押し てバランスを調節する

● 初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
Fad (フェーダー)	0 (センター)	リア フロント R6~F6
Bal (バランス)	0 (センター)	ライト レフト R6~L6

● 設定が終わったら

DISPを押します。

戻るを押すとひとつ前の画面に戻ります。

<お知らせ>

- フェーダー調節は、4スピーカー接続のときに限り調節してください。2スピーカー接続の時は、初期設定「0」のままにしてください。

音量の調節(つづき)

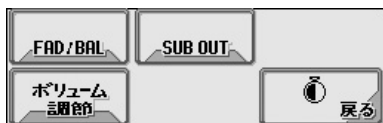
サブウーハーの音量を調節する

1 MENUを押す

メニューが表示されます。



2 SELを押す



3 SUB OUTを押す



4 レベル+やレベル-を押してサブウーハー出力を、FREQ-やFREQ+を押してカットオフ周波数を調節する

● 初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
サブウーハー出力	04	00~08
カットオフ周波数	Mid (85Hz)	Low/Mid/High (55Hz/85Hz/115Hz)

〈お知らせ〉

- サブウーハー音量調節はサブウーハーを接続しているときに有効です。

ソース(音源)ごとの音量差を調節する

AM放送やLINE INなどの音がFM放送の音より小さい(または大きい)ときは、音量差を調節することができます。

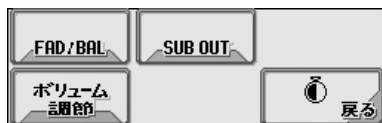
調節する前に、ソース(音源)を選びます、

1 MENUを押す

メニューが表示されます。



2 SELを押す



3 ボリューム調節を押す



4 -調節や+調節を押してソースの音量を調節する

	初期設定	調節範囲
ボリューム調節	00	-05 ~ +05

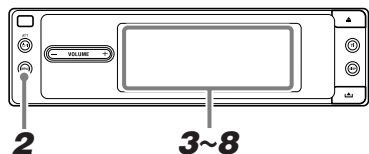
調節したレベルが表示窓に表示されます。

〈お知らせ〉

- ボリューム調節は、FM放送の音量を基準にしています。したがってソース(音源)がFMのときは、表示窓に「Fix」が表示され調節できません。
- 調節から15秒後に、自動でソース(音源)の表示に戻ります。

文字の入力のしかた

30局分/最大10文字の放送局名と40枚分/最大32文字のディスク名、最大8文字のLINE INの名称を登録しておくことができます。



1 文字を入力したいソース(音源)を選ぶ

TUNER, CD, CD-CH (CDチェンジャー)、またはLINE-INのいずれかを選びます。

2 MENUを押す

メニューが表示されます。



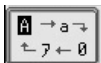
3 文字入力を押す

例: ソース(音源)に「CD」を選んだ場合



カーソルが点滅します。

4 文字の種類を選ぶ



カタカナ、アルファベット、数字から選べます。

・文字の種類についてはの67ページの「文字配列表」をご覧ください。

5 文字を選ぶ



6 文字を確定する



文字が確定し、カーソルが次の位置に移動します。

7 手順4~6をくり返して文字を入力する

カーソルが次の位置に移動します。入力した文字を削除するときは、消したい文字にカーソルを合わせて「空白」を入力します。

8 入力を確認する

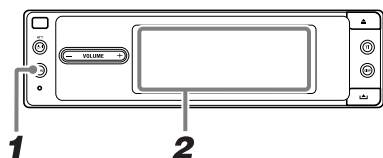


〈お知らせ〉

- ・ CDテキスト、MP3/WMAディスクには、ディスク名の登録ができません。
- ・ 31局目の放送局名または41枚目のディスク名を入力しようとしても、「Name Full」が表示されて入力モードに入ることできません。この場合、あらかじめ不要な名称を削除してから再度入力してください。
- ・ 全てスペース(空白)を入力し、確定すると名称を削除することができます。
- ・ 文字を入力したあとDISPボタンを押し続けると、一括して削除することができます。

コントロールパネルの角度を変える

コントロールパネルの角度を4段階に調節することができます。



1 MENUを押す

メニューが表示されます。



2 アングルを押してお好みの角度を選ぶ

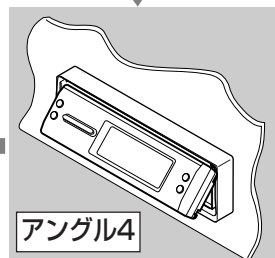
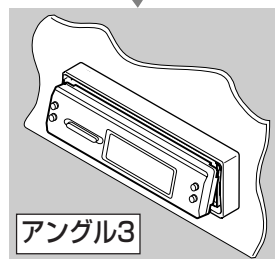
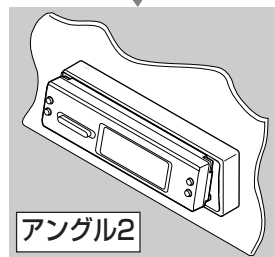
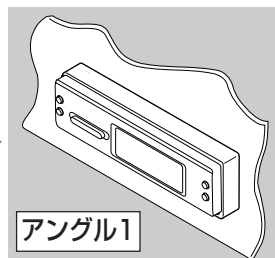
タッチパネルを押すごとに、コントロールパネルの角度が右図のように変化します。

リモコンで操作するときは

ANGLE を押して調節します。

ご注意

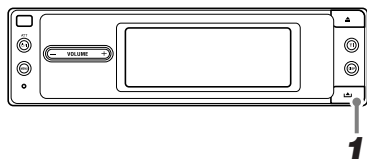
- コントロールパネルが動いているときに、本体との間に指などを挟まないようにしてください。けがや故障の原因となることがあります。
- 角度を変えて使っているとき、電源を「切」にすると、一番上の角度に戻ってから切れます。再び電源を「入」にすると、元の角度に戻ります。



コントロールパネルの着脱

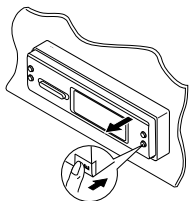
コントロールパネルを外す

コントロールパネルを取り外すことができます。コントロールパネルの角度を「アングル1」にしてから操作します。(→ 56 ページ)

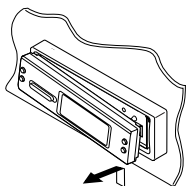


1 を押す

コントロールパネルのロックが外れます。

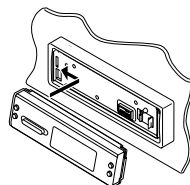


2 コントロールパネルを少し持ち上げて、ゆっくり本体から外す

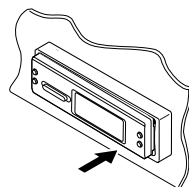


コントロールパネルを取り付ける

1 コントロールパネルの左側を本体の内側の溝に合わせる



2 コントロールパネルの右側を静かに押して、本体に取り付ける



〈お知らせ〉

- お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。

コントロールパネルの角度を変える・コントロールパネルの着脱

放送局名一覧

	放送局名	場所	周波数
北海道 (FM)	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	〃	85.2MHz
	〃	旭川	85.8MHz
	〃	北見	86.0MHz
	〃	函館	87.0MHz
北海道 (AM)	NHK第1	札幌	567kHz
	〃	釧路	585kHz
	〃	帯広	603kHz
	〃	旭川	621kHz
	STVラジオ	函館	639kHz
	NHK第1	〃	675kHz
	NHK第2	北見	702kHz
	〃	札幌	747kHz
	HBCラジオ	旭川	864kHz
	〃	室蘭	864kHz
	STVラジオ	釧路	882kHz
	HBCラジオ	函館	900kHz
	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	帯広	1,071kHz
	NHK第2	室蘭	1,125kHz
	〃	帯広	1,125kHz
	〃	釧路	1,152kHz
NHK第1	北見	1,188kHz	
STVラジオ	旭川	1,197kHz	
HBCラジオ	帯広	1,269kHz	
〃	札幌	1,287kHz	
〃	稚内	1,368kHz	
〃	釧路	1,404kHz	
STVラジオ	札幌	1,440kHz	
HBCラジオ	網走	1,449kHz	
NHK第2	函館	1,467kHz	
HBCラジオ	名寄	1,494kHz	
NHK第2	旭川	1,602kHz	

	放送局名	場所	周波数
東北地方 (FM)	FM岩手	盛岡	76.1MHz
	Date FM	仙台	77.1MHz
	エフエム青森	青森	80.0MHz
	FM山形	山形	80.4MHz
	ふくしまFM	郡山	81.8MHz
	NHK-FM	山形	82.1MHz
	〃	仙台	82.5MHz
	FM秋田	秋田	82.8MHz
	NHK-FM	盛岡	83.1MHz
	〃	福島	85.3MHz
東北地方 (AM)	〃	青森	86.0MHz
	〃	秋田	86.7MHz
	NHK第1	盛岡	531kHz
	〃	山形	540kHz
	IBC岩手放送	盛岡	684kHz
	NHK第2	秋田	774kHz
	NHK第1	仙台	891kHz
	山形放送	山形	918kHz
	秋田放送	秋田	936kHz
	NHK第1	青森	963kHz
NHK第2	仙台	1,089kHz	
青森放送	青森	1,233kHz	
東北放送	仙台	1,260kHz	
関東地方 (FM)	NHK第1	福島	1,323kHz
	NHK第2	盛岡	1,386kHz
	ラジオ福島	福島	1,458kHz
	NHK第1	秋田	1,503kHz
	NHK第2	山形	1,521kHz
	AFN	三沢	1,575kHz
	NHK第2	福島	1,602kHz
	インター FM	東京	76.1MHz
	レディオ・ベリー	宇都宮	76.4MHz
	放送大学	東京	77.1MHz
BAY-FM	船橋	78.0MHz	
FM-FUJI	三ツ峠	78.6MHz	
関東地方 (FM)	放送大学	前橋	78.8MHz
	NACK 5	さいたま	79.5MHz
	TOKYO FM	東京	80.0MHz
	NHK-FM	宇都宮	80.3MHz
	〃	千葉	80.7MHz

	放送局名	場所	周波数
関東地方(FM)	J-WAVE	東京	81.3MHz
	NHK-FM	前橋	81.6MHz
	∕	横浜	81.9MHz
	∕	東京	82.5MHz
	∕	水戸	83.2MHz
関東地方(FM)	FMヨコハマ	横浜	84.7MHz
	NHK-FM	さいたま	85.1MHz
関東地方(AM)	FM群馬	前橋	86.3MHz
	NHK第1	東京	594kHz
	NHK第2	∕	693kHz
	AFN	∕	810kHz
	TBSラジオ	∕	954kHz
	文化放送	∕	1,134kHz
	茨城放送	水戸	1,197kHz
	ニッポン放送	東京	1,242kHz
	ラジオ日本	横浜	1,422kHz
	栃木放送	宇都宮	1,530kHz
中部地方(FM)	FM福井	福井	76.1MHz
	FM新潟	新潟	77.5MHz
	ZIP FM	名古屋	77.8MHz
	FM Part	新潟	79.0MHz
	K-MIX	静岡	79.2MHz
	RADIO-i	名古屋	79.5MHz
	FM長野	美ヶ原	79.7MHz
	岐阜FM	高山	80.0MHz
	FM石川	金沢	80.5MHz
	中部地方(FM)	FM AICHI	名古屋
NHK-FM		富山	81.5MHz
∕		金沢	82.2MHz
∕		新潟	82.3MHz
∕		名古屋	82.5MHz
FMとやま		富山	82.7MHz
FM-FUJI		坊ヶ峰	83.0MHz
NHK-FM		福井	83.4MHz
∕		岐阜	83.6MHz
∕		長野	84.0MHz
∕	甲府	85.6MHz	
∕	静岡	88.8MHz	

	放送局名	場所	周波数
中部地方(AM)	NHK第2	静岡	639kHz
	NHK第1	富山	648kHz
	∕	名古屋	729kHz
	北日本放送	富山	738kHz
	YBSラジオ	甲府	765kHz
	NHK第1	長野	819kHz
	∕	新潟	837kHz
	福井放送	福井	864kHz
	NHK第1	静岡	882kHz
	NHK第2	名古屋	909kHz
中部地方(AM)	NHK第1	福井	927kHz
	∕	甲府	927kHz
	NHK第2	富山	1,035kHz
	CBCラジオ	名古屋	1,053kHz
	信越放送	長野	1,098kHz
	北陸放送	金沢	1,107kHz
	新潟放送	新潟	1,116kHz
	NHK第1	金沢	1,224kHz
	東海ラジオ	名古屋	1,332kHz
	NHK第2	金沢	1,386kHz
近畿地方(FM)	静岡放送	静岡	1,404kHz
	岐阜ラジオ	岐阜	1,431kHz
	NHK第2	長野	1,467kHz
	∕	福井	1,521kHz
	∕	新潟	1,593kHz
	∕	甲府	1,602kHz
	FM CO・CO・LO	生駒山	76.5MHz
	E-Radio	滋賀	77.0MHz
	Kiss-FM KOBE	姫路	77.6MHz
	FM三重	津	78.9MHz
FM 802	大阪	80.2MHz	
近畿地方(FM)	NHK-FM	津	81.8MHz
	∕	京都	82.8MHz
	∕	大津	84.0MHz
	∕	和歌山	84.7MHz
	fm osaka	大阪	85.1MHz
	NHK-FM	神戸	86.5MHz
	∕	奈良	87.4MHz
	∕	大阪	88.1MHz
	α-STATION	京都	89.4MHz
	Kiss-FM KOBE	神戸	89.9MHz

放送局名一覧(つづき)

	放送局名	場所	周波数		放送局名	場所	周波数																												
近畿地方(A.M.)	AM KOBE	神戸	558kHz	四国地方(F.M.)	NHK-FM	高松	86.0MHz																												
	NHK第1	京都	621kHz		〃	高知	87.5MHz																												
	〃	大阪	666kHz		〃	松山	87.7MHz																												
	NHK第2	〃	828kHz		四国地方(A.M.)	高知放送	高知	900kHz																											
	ABCラジオ	〃	1,008kHz			NHK第1	徳島	945kHz																											
	KBS京都	京都	1,143kHz			〃	松山	963kHz																											
MBSラジオ	大阪	和歌山	和歌山放送	〃		高知	990kHz																												
				NHK第2		高松	1,035kHz																												
				南海放送		松山	1,116kHz																												
中国地方(A.M.)	FM岡山	岡山	76.8MHz	九州地方(A.M.)	NHK第2	高知	1,152kHz																												
	エフエム山陰	松江	77.4MHz		四国放送	徳島	1,269kHz																												
	広島FM	広島	78.2MHz		NHK第1	高松	1,368kHz																												
	FM山口	山口	79.2MHz		西日本放送	〃	1,449kHz																												
	NHK-FM	松江	84.5MHz		NHK第2	松山	1,512kHz																												
	〃	山口	85.3MHz		九州地方(F.M.)	Love FM	福岡	76.1MHz																											
エフエム山陰	鳥取	浜田	NHK-FM	FM中九州		熊本	77.4MHz																												
				FM佐賀		佐賀	77.9MHz																												
				CROSS FM		福岡	78.7MHz																												
中国地方(F.M.)	NHK第1	山口	山口放送	SMILE-FM		長崎	79.5MHz																												
				山陰放送		鹿児島	79.8MHz																												
				NHK第1	福岡	80.7MHz																													
				NHK第2	広島	鳥取	NHK-FM	佐賀	81.6MHz																										
								NHK第1	宮崎	83.2MHz																									
								中国放送	長崎	84.5MHz																									
	NHK第1	鳥取	NHK第1	NHK-FM	福岡	84.8MHz																													
					熊本	85.4MHz																													
					鹿児島	85.6MHz																													
	九州地方(A.M.)	山口	岡山	山陽放送	〃	北九州	85.7MHz																												
					AFN	佐世保	86.0MHz																												
					NHK第2	宮崎	86.2MHz																												
FM大分					大分	88.0MHz																													
NHK-FM					〃	88.9MHz																													
四国地方(F.M.)					FM香川	FM愛媛	FM徳島	FM高知	NHK-FM	NHK第2	宮崎	540kHz																							
	鹿児島	576kHz																																	
	福岡	612kHz																																	
	大分	639kHz																																	
	長崎	684kHz																																	
	熊本	756kHz																																	
	〃	873kHz																																	
	九州地方(A.M.)	FM徳島	FM高知	NHK-FM							NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM																					
															FM高知	NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM														
																						NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM							
NHK-FM					NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM																									
																													NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM	NHK-FM

	放送局名	場所	周波数
九州 地方 (AM)	宮崎放送	宮崎	936kHz
	NHK第1	佐賀	963kHz
	NHK第2	福岡	1,017kHz
	大分放送	大分	1,098kHz
	南日本放送	隼人	1,107kHz
	熊本放送	熊本	1,197kHz
	長崎放送	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	長崎	1,377kHz
	◇ KBCラジオ NHK第2 ◇ AFN	鹿児島 福岡 大分 宮崎 佐世保	1,386kHz 1,413kHz 1,467kHz 1,467kHz 1,575kHz
沖縄 (FM)	FM 沖縄	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN 沖縄	◇	89.1MHz
沖縄 (AM)	NHK第1	沖縄	549kHz
	AFN	◇	648kHz
	琉球放送	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	◇	864kHz
	NHK第2	◇	1,125kHz

故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

症 状	原 因 ・ 処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 → ボールペンなどで軽くリセットボタンを押す。 (⇒ 8ページ) (時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります)
電源を切っても ATT が白黒反転表示する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源/ATTボタンを1秒以上押す。(⇒ 12ページ)
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源(ACCライン) のコードが接続されていないため。 ● 車のエンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」のため。 (⇒ 12ページ)
ディスクの取り出しができない。(No Eject が白黒反転表示する)	<ul style="list-style-type: none"> ● 盗難防止状態になっている。 → 電源/ATTボタンを押したまま CD 取り出しボタンを同時に2秒以上押す。(⇒ 29ページ)
ディスクを入れても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量を適度に調節する。 ● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 → ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。 ● CD規格(CD-DA) に準拠しないディスクを使用している。 → ディスクのマークを確認する。(⇒ 20ページ)
CD-R/RWディスクの再生やスキップ演奏ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイナライズ処理がされていないため。 → ファイナライズ処理したディスクと交換する。 または録音した機器でファイナライズ処理をする。
「ピッピッピ」音のあとCDが出てくる。	<ul style="list-style-type: none"> ● CDが裏返しに入っている。 → 文字のある面を上にしてCDを入れ直す。
CDの出し入れのとき音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● この動作のときは、音声にミュートンゲをかけて雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。
演奏の途中でCDが音飛びしたり停止する。	<ul style="list-style-type: none"> ● CD-R/RW ディスクにラベルなどが張ってあるため、温度上昇によりディスクが反っている。 → ラベルなどを張ったディスクは使用しない。(⇒ 7ページ)

症 状	原 因 ・ 処 置
<p>放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。 ● オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブラスター電源端子)に本機の アンテナコントロール電源 コード(青)を正しく接続する。 ● 車両側のアンテナ線からアンテナコントロール端子が出ている。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 本機の アンテナコントロール電源 コード(青)をこの端子に接続する。 ● 放送局の周波数に正しく合わせる。 ● 携帯電話などを本機から離す。

こんな表示のときは

表 示	原 因 ・ 処 置
<p>No Name</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク名や曲名が記録されていない。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ ディスク名または曲名が記録されているディスクを入れる。 ● 放送局名が入力されていない。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 放送局名を入力する。
<p>No Magazine</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● マガジンが入っていないときソース(音源)を「CDチェンジャー」にしたため。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ マガジンを入れる。
<p>No Files</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● フォルダにMP3/WMAファイルが含まれていない。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ MP3/WMAファイルを含むフォルダを選ぶ。 ● ディスクに <jll> または <jla> のファイルしか記録されていない。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ MP3/WMAファイルを含むディスクを入れる。
<p>Not Support</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイルのフォーマット(形式)が適切でない。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 正しいフォーマットのファイルを含むディスクを入れる。
<p>Reset P00</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● コントロールパネルの動きが妨げられています。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ リセットボタンを押す。または取り付けを再確認してください。

故障かな?と思う前に (つづき)

表 示	原 因 ・ 処 置
Loading Error Eject Error	<ul style="list-style-type: none">● CDの認識ができなかったため。 ➔ ⏻/I(電源)/ATTボタンを押したまま▲(CD取り出し)ボタンを同時に2秒以上押したあと、「Emergency Eject」を押す。(➔ 29ページ)
表示窓に LOWTEMP (LOW TEMP.)が表示され、デモ表示などのアニメーションが表示されない。また文字がスクロールしない。	<ul style="list-style-type: none">● 冬期低温下に長時間駐車したため本機の温度が0℃以下になっている。 ➔そのままラジオを聞くなどして本機の温度が上昇するまで待つ。
● CDチェンジャー	
Reset 8	<ul style="list-style-type: none">● CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため。 ➔CDチェンジャーとの接続コードを確認する。
Reset ^{数字}○	<ul style="list-style-type: none">● CDチェンジャー本体にエラーが発生したため。 ➔CDチェンジャーの取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。

ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、記憶(メモリー)した放送局は取り消されます。時刻表示は「1:00」に戻ります。電源を接続したらもう一度始めから放送局や現在時刻を設定し直してください。

〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

62～64ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎() -

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- サンプリング
周 波 数：44.1kHz
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：5Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：98dB
- S N 比：102dB

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
- 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
- 実 用 感 度：14.3dBf(1.43 μ V/75 Ω)
- AMチューナー部
- 受信周波数：522kHz～1,629kHz
- 実 用 感 度：27dB μ (22.4 μ V)

オーディオアンプ部

- 最 大 出 力：フロント 50W+50W
(4 Ω 、1kHz)
リア 50W+50W
(4 Ω 、1kHz)
- 適合インピーダンス：4 Ω (4 Ω ～8 Ω で使用可能)
- 入 力 端 子：DINジャック×1
LINE IN(1系統)、
1.5V/20k Ω
- 出 力 端 子：LINE OUT(2系統)、
5.0V/1k Ω
：SUB WOOFER(1系統)

電源部・その他

- 電 源 電 圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース専用
- 取 付 寸 法：幅178mm×高さ50mm×
奥行158mm
- 外 形 寸 法：幅178mm×高さ50mm×
奥行177mm
- 質 量：約1.9kg(付属品含まず)

付属品

- ・リモコン(RM-RK300) 1
- ・電池(CR2025) 1
- ・CD-ROM(アプリケーションソフト) 1
- ・接続コード(16ピンコネクター) 1
- ・ネジ(M5×8mm) 4
- ・皿ネジ(M5×8mm) 4

別売りのオプション品

- RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)
CN-510E(長さ1m)
CN-520E(長さ2m)

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でのお求めください。
(品番は変更されることがあります)

文字配列表

●カタカナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ツ	
ー	ゝ	゜	(空白)						

●英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

●英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

●数字・記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	"	#	\$	%	&	'	()	*
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	_	`	(空白)					

〈お知らせ〉

- 本機は、「文字配列表」以外の文字・記号は入力できません。
- 入力した放送局名をお買い上げ時の放送局名に戻すときは、リセットボタンを押します。このあと電源を入れてから、時計の設定や放送局の記憶(メモリー)などの設定をやり直してください。そのあと「各種設定と調節」(→ 45、47ページ)の操作で「受信地域」の「ご利用の地域」を設定します。

お手入れ

本体の清掃

- **本体パネル面の清掃**
本体パネル面やタッチパネルが汚れたら柔らかい布などで**からぶき**してください。タッチパネルをふくときは、爪でタッチパネルに傷をつけないように注意してください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品や洗剤でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCカーオーディオお客様ご相談センター

別紙の
「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」
をご覧ください。

 0120-977-846 (フリーコール)
FAX (027)254-8927
受付時間 10:00~18:00
(土、日、祝日、当社休日を除く)
〒371-8543 群馬県前橋市大渡町1-10-1

ビクターインターネットホームページアドレス <http://www.victor.co.jp/>
カーAV機器ホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

JVC

日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー
〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12